

広域連携中学生交流洋上体験研修 事業報告書



秦野市・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村

日程：令和5年8月5日(土)～8月7日(月)

～この事業には、市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」の収益金が充てられています～

目 次

1	あいさつ	1
2	研修概要	3
3	研修生内訳について	4
4	研修プログラム	
(1)	事前研修	5
(2)	本研修	7
5	研修レポート	19
6	指導主任、指導担当の感想	48
7	運営スタッフ	51
8	アンケート結果	
(1)	研修生へのアンケート	53
(2)	研修生の保護者へのアンケート	55
	資料	
	○「望星丸」概要	65
	○実施要項	66
	○実行委員会規約、実行委員名簿	69
	○運営委員会規約、運営委員名簿	71

1 あいさつ



「令和5年度洋上体験研修事業を終えて」

秦野市長 高橋 昌和

本年8月5日から8月7日の日程で行われた中学生交流洋上体験研修が、無事に終了しました。

この事業は、平成13年度から秦野市の21世紀記念事業として始まり、今年で23年目を迎えますが、令和2年度からの3年間は、新型コロナウイルスの拡大に伴い、中止となりました。

今年度は4年振りに開催となりましたが、秦野市から37名、中井町から4名、大井町から6名、松田町から10名、二宮町から9名、清川村から9名、全75名の研修生と大勢の方に参加いただきましたこと、心から嬉しく思います。

さて、この事業には「自然のすばらしさ、厳しさを体験する」という目的があります。本来であれば、新島での研修プログラムを通じて、「新島の歴史や自然にふれあう体験」をしていただきたかったのですが、残念ながら今年は、台風第6号の影響に伴い、新島への渡航が叶いませんでした。しかし、天候の影響で予定どおり研修を行うことができないというのも、自然の厳しさの「体験」なのではないでしょうか。

新島へ渡航できなかったものの、東海大学に御協力いただき、安心・安全を第一に考え、望星丸の船内や御前崎港・清水港での研修を実施することができたと聞いております。船内で過ごした2泊3日の集団生活には、普段の生活からは想像できない不便さがあったと思います。しかし、班員や同室の友達と協力し、様々な工夫を凝らしながら乗りこえた経験は、必ず皆さん一人ひとりの力になります。研修が終わった後、この経験を日々の生活に生かすことができるかどうかは、皆さん次第です。この研修の中で感じた団体行動での大切なこと、他人を思いやる気持ち、新たなことに挑戦する勇気、どうかその全てが今後の皆さんの人生の役に立つことを願っています。

そして保護者の皆様には、2泊3日という期間、お子さまが親元を離れ、船上で生活することに不安や心配もあったかと思いますが、本事業の趣旨に賛同いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

結びに、望星丸乗組員の方をはじめとした東海大学、実行委員並びに関係者の皆さまの多大なる御支援に、心から感謝申し上げます。



「洋上体験研修に参加して」

広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会

実行委員長兼総括責任者 逢坂 伸一

コロナ感染禍のためにやむを得ず、中断していた「広域連携中学生交流洋上体験研修事業」がようやく再開され、無事に終了しましたことを御報告いたします。

今年度は、九州地方を北上していた台風第6号の影響を受けて、新島への寄港を断念し、波の穏やかな沿岸航路を選択しました。御前崎港から興津港を経て清水に帰港し、駿河湾沖での深海調査などの学びを体験しました。新島の歴史や文化を学ぶオリエンテーリング、澄んだ海辺での海水浴、あるいは古代ローマの銭湯をイメージしたような野外露天風呂体験などはできませんでしたが、3日間にわたる比較的長時間の航海生活は、グループとしての仲間づくり意識をより一層深めることに役立ったと思っております。

洋上フェスティバルの出し物準備やグループごとの配膳手配などもスムーズであり、自らのなすべきことに気づくことも多々見受けられました。これからの人生上の良きヒントになることを期待したいものです。

毎回のことですが、裏方である各市町村の職員の皆様の支えにも感心し、感謝せざるを得ません。スタッフの一人の万歩計をチェックさせていただいたのですが、一日平均が、船内での行動が大部分であったにもかかわらず、一万歩前後であったことにも驚かざるを得ませんでした。

この事業の実施に当たっては、1市4町1村とそれぞれの中学校の御理解、そして東海大学、特に海洋学部、望星丸の乗組員の皆様の御指導と御協力の賜物であることを強く感じると同時に、地域の中学生諸君の未来のためにも、これからも継続していただくことを心よりお願いしたいと思っております。

なお、今回特筆させていただきたいことですが、私たちが乗船した望星丸の二等航海士は、中学生であった時に、この洋上体験に参加していた地元の先輩であったということです。

10数名の海洋学部4年生の乗船実習生の丁寧な御指導も忘れることはできません。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2 研修概要

【目的】

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町、清川村（以下1市4町1村という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

【事業日程】

- (1) 第1回実行委員会：4月21日（金）
 - ・規約案、実施要項案、研修スケジュール案、事業予算案の協議
- (2) 第2回実行委員会：6月22日（木）
 - ・研修生の決定、運営委員の決定、研修スケジュール案、救急医療対応等について
- (3) 運営委員会：6月22日（木）
 - ・運営委員会スタッフの役割、研修スケジュールの確認
- (4) 事前研修：7月15日（土）
 - ・オリエンテーション、アイスブレイク、班内打ち合わせ
- (5) 本研修：8月5日（土）～8月7日（月）
- (6) 第3回実行委員会：11月27日（月）
 - ・事業報告、決算

【使用船】

東海大学海洋調査研修船「望星丸」1，777トン

3 研修生の内訳について

(1) 男女別

男子	女子	合計
41	34	75

内参加経験有 (0) 人

(2) 学年別

1年	2年	3年	合計
37	24	14	75

(3) 市町村別

秦野市						中井町						大井町					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
24	13	20	13	4	37	0	4	2	1	1	4	4	2	4	1	1	6

松田町						二宮町						清川村					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
6	4	7	1	2	10	4	5	2	6	1	9	3	6	2	2	5	9

(4) 学校別人数

※()は参加経験有

	秦野市																			
	本町		南		東		北		大根		西		南が丘		渋沢		鶴巻		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年		1	1		2	1		1	3		3	2	1		3		2			
2年		4					2				1	4		1			1			
3年			1			1					1									1
合計	0	5	2	0	2	2	2	1	3	0	4	3	5	0	4	0	2	1	0	1
	5		2		4		3		3		7		5		4		3		1	

	中井町				大井町				松田町			
	中井		その他		湘光		その他		松田		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年		2			4				5	2		
2年		1				1			1			
3年		1				1				2		
合計	0	4	0	0	4	2	0	0	6	4	0	0
	4		0		6	0			10	0		

	二宮町						清川村					
	二宮		二宮西		その他		緑		宮ヶ瀬		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年	1			1			1	1				
2年	2	2	1	1			1			1		
3年				1			1	4				
合計	3	2	1	3	0	0	3	5	0	1	0	0
	5		4		0		8		1		0	

4 研修プログラム

(1) 事前研修

- ◆と き：令和5年7月15日（土）
- ◆と ころ：はだのこども館 多目的ホール
- ◆内 容

逢坂実行委員長兼統括責任者のあいさつから始まった事前研修。この日初めて顔を合わせる班員たちはお互い緊張気味。まずは本研修のスケジュールを確認する「オリエンテーション」。そして、仲間と打ち解けるための「アイスブレイク」を行い、班長や室長などの役割を決め、その後、洋上フェスティバルのスタンツの話し合いをしました。



●受付

受付で自分の所属する班を確認します。名前がどこにあるか、探し中。

時間	主なスケジュール
9時30分	開会・あいさつ
9時45分	オリエンテーション (本研修に向けて)
10時20分	アイスブレイク (仲間作り)
10時45分	班内打ち合わせ ・班長、副班長の決定 ・室長、副室長の決定 ・洋上フェスティバル のスタンツの相談
12時00分	閉会、解散



●実行委員長兼統括責任者のあいさつ

3日間、仲間たちと共に過ごすうえでの心構えをお話いただきました。



●オリエンテーション

しおりを見ながら、スケジュールや持ち物、船上での注意事項を確認します。



●看護担当からの注意事項

看護担当の職員から、船酔いや熱中症対策の話がありました。



●指導担当紹介

各班に割り当てられる指導担当の先生たちの紹介です。



●顔合わせ

班内で初めての自己紹介。まだちょっと緊張気味。



●アイスブレイク

仲間と打ち解けるために、ミニゲームで気持ちをほぐします。



●班内打ち合わせ

本研修2日目に行われる洋上フェスティバルの打ち合わせ。発表するスタンプを班の皆で考えます。

(2) 本研修

【1日目 8月5日(土)】

出発式当日は、梅雨明け後の快晴。秦野市役所西庁舎駐車場において、各市町村の教育長や実行委員に参列いただき、研修生の保護者、市町村の職員などに見守られ行われました。

台風6号の影響に伴い、行き先が新島から御前崎港に変更となる中、研修生達は、指導担当からの指示のもと、臨機応変に対応し、活動を行いました。

船内は、台風の影響で大きく揺れたため、船酔いする子が多数いました。

夕方には、船上においてデッキディナーやロープワークを実施した後、御前崎港に下船し、花火鑑賞と星空観測を楽しみました。



●あいさつ

出発時、秦野市長はじめ、来賓の方々からごあいさつをいただきました。



●中学生交流宣言

9班の高橋杏さんがみなさんの前で研修への意気込みを宣言しました。

1 日 目	
時間	スケジュール
6	受付
7	出発式 秦野市役所出発
8	バス移動 富士川SA休憩
9	バス移動 清水港着、乗船
10	清水港出港 船内オリエンテーション
11	昼食 ・焼き塩シャケ ・鶏の唐揚げ 等
12	
13	船内見学
14	御前崎港到着
15	班内会議
16	
17	夕食 ・ミニホットドック ・ポロネーゼ 等
18	ロープワーク&花火鑑賞 & 星空観察
19	
20	航海日誌の記入 消灯
21	



●出発式での集合写真



●望星丸に乗船
清水港から望星丸に乗船。
住吉事務長から望星丸乗船時の注意事項
をご説明いただきました。



●登舷礼
360度透き通る海に囲まれる中、サ
イドデッキで登舷礼を行いました！



●緊急招集訓練
船酔いの対応や万一の場合に使用する
救命道具の使用方法を教わりました。



●昼食準備
余分な洗い物を減らすため、トレイに
ラップを張り、配膳します。



●船内見学①

船の上には見たことのない物ばかり！乗組員の方々から説明を受けました。



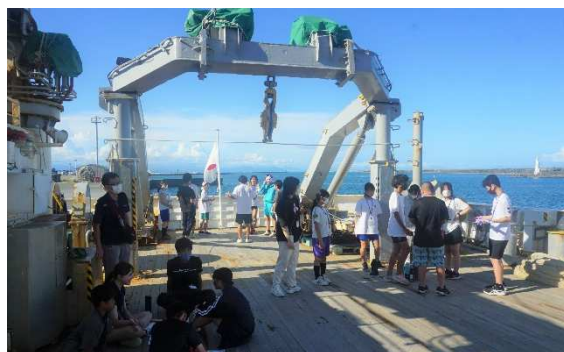
●船内見学②

船内には安全に航海するための設備がたくさんあります。研修生も興味津々！



●班内会議①

2日目の洋上フェスティバルに向けて班内で打ち合わせです。



●班内会議②

劇を発表する班は、後部デッキに出て、練習をしました！



●夕食準備

メニューはミニホットドック、ポロネーゼ、バナナでした。



●デッキディナー

デッキで夕陽や海を眺めながら、ディナーを楽しみました。



●ロープワーク①

望星丸乗組員のみなさんにロープの使い方を教えていただきました。



●ロープワーク②

船上で使うロープの結び方を学びます。上手に出来るかな？



●御前崎みなと夏祭り①

注意事項について、説明を受けた後、全員で港において花火鑑賞をしました！



●御前崎みなと夏祭り②

「たまや〜」「かぎや〜」そんなかけ声と楽しそうな笑い声が花火の音とともに聞こえていました！



●星空観察

花火を見終わった後、星空観察をしました。夏の大三角は発見できたかな？



●航海日誌の記入

班ごとに一日の反省や明日の目標を話し合いました。

【2日目 8月6日（日）】

2日目は、午前中に玉井技術員による海洋に関する講話を聞き、「望星丸」や「海」について学習しました。

午後には、いよいよ洋上フェスティバルの始まりです。劇やクイズ、ダンス、マジックなど様々なスタンプを班ごとに発表し、練習の成果を存分に発揮できました。

また、乗組員のクイズ大会も盛り上がりました。

夜は、船上から「清水みなと祭」の花火大会を鑑賞しました。障害物ひとつなく、海洋の上に映る花火は、大変美しいものでした。



●朝のつどい

朝6時に起床。眠い中、ラジオ体操を行い、心も体もリフレッシュ！



●朝食

2日目の朝食は8班が配膳担当です。船酔いしないためにしっかり食べよう！

2日目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい・清掃
7	朝食 ・ロースハムとソフトサラミ ・シラス 等
8	御前崎港出港
9	班内会議（食堂）
10	船長あいさつ 海洋に関する講話
11	昼食
12	・カレーライス ・フライドポテト
13	清水港（興津）到着
14	洋上フェスティバル
15	
16	シャワー（船内）& DVD 鑑賞
17	
18	夕食 ・ポークケチャップ ・ナスのみそ和え 等
19	清水みなと祭（花火鑑賞） 洋上フェスティバル表彰式
20	
21	航海日誌の記入
	消灯



●班内会議①

朝食を食べた後は、洋上フェスティバ
前最後の班内会議です。



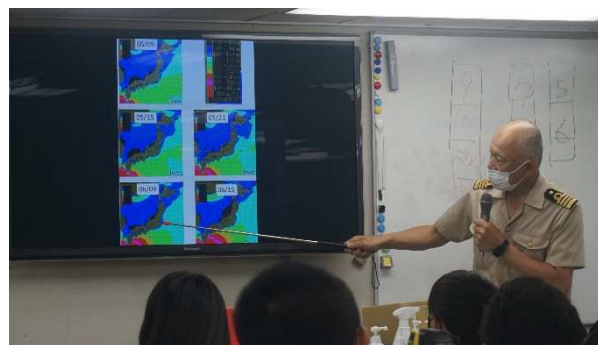
●班内会議②

優勝を目指し、全員が必死に練習していま
した。



●船長あいさつ

望星丸船長の上河内（かみごうち）キャ
プテンからのごあいさつ。これまでの経
歴も説明いただきました。



●船長、日本の海について説明中・・・
海についての話では、私たちが知らない
貴重な話しをしていただきました。



●海洋に関する講話①

玉井技術員から海洋に関するお話を
していただきました。



●海洋に関する講話②

講話では、望星丸の歴史や船体のお話、
新島に上陸できなかった理由など、船と
海の関係についてご説明いただきました。



●洋上フェスティバル①

各班の班長が集まり、くじ引きで順番を決めます。最初はどの班かな～？



●洋上フェスティバル②

いよいよ、各班がこれまで練習してきた成果を見せる時です。みんな頑張って！



●洋上フェスティバル

発表は劇、クイズ、マジックなど様々で、どの班も素晴らしい発表でした！



●望星丸の乗組員のスタンプ

望星丸乗組員のみなさんによるクイズ大会です。クイズの優勝賞品は、なんと「コカ・コーラ」でした！



●夕食①

この日の献立は一口（ひとくち）カツと豚生姜焼き、コールスローでした。



●夕食②

洋上体験最後の夕食です。みんなで食べるご飯はおいしいね！



●清水みなと祭花火鑑賞①

サイドデッキにて、「清水みなと祭花火大会」を鑑賞しました！



●清水みなと祭花火鑑賞②

船上という特等席から花火が見れたのは、この夏一番の思い出です！
煙がかかってしまったのは残念・・・



●洋上フェスティバル表彰式

花火の後は、洋上フェスティバル表彰式を行いました。3位は2班、2位は6班でした！みんな嬉しそう。



●優勝は8班！

全員が参加し、見ている方も発表した8班の研修生も楽しめる構成でした。優勝おめでとうございます！



●指導担当による絵本の読み聞かせ

最後に3グループに分かれて、指導担当からサプライズの「絵本の読み聞かせ」をしました。絵本から学んだ大切なことはこれからも忘れずにね！



●航海日誌・研修レポート記入

就寝前に、航海日誌・研修レポートを書きました。募る思いがいっぱいあったのか、集中して書いている研修生が多く見受けられました。

【3日目 8月7日（月）】

あっという間に研修最終日。朝食の後
は、3日間お世話になった望星丸へ感謝の
気持ちを込めて大掃除をしました。

午前中は乗組員の説明を受けながら、海
洋観測を実施。持ってきたカップ麺の容器
での水圧実験等を行いました。

帰港式ではお世話になった船長、乗組員
の方々へ感謝の気持ちを伝えました。

バス移動を経て、秦野市カルチャーパー
ク第1駐車場で解散式。2泊3日の洋上体
験研修が無事終了しました。



●朝のつどい

今朝も朝日を浴びながら、ラジオ体操
でスタート。



●朝食

慣れてきて、配膳の準備や盛り付けも
スムーズです。

3 日 目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい
7	朝食 ・きんぴらごぼう ・グリルソーセージ 等
8	大掃除
9	整理整頓
10	海洋観測 海洋に関する講話
11	昼食
12	・サンマー麺 ・フルーツヨーグルト 等
13	研修レポート記入
14	下船準備
	帰港式
15	清水港出発
16	バス移動
	富士川SA休憩
	バス移動 秦野市文化会館着
17	解散式



●大掃除①

お世話になった望星丸。練習生の指示に従いながら、心を込めて掃除します。



●大掃除②

班ごとに分かれ、丁寧に一生懸命掃除します。掃除場所は、食堂、トイレ、通路等。お世話になりました！



●海洋観測

玉井技術員からこれから行う水圧実験や海洋プランクトン採取方法等について説明していただきました。



●水圧実験・海洋プランクトンの採取
専用の大きな網で海からプランクトンを引き上げます。



●海洋プランクトンの観察①

海から上がってきたものを小分けにして観察します。



●海洋プランクトンの観察②

顕微鏡に映る映像を見て、詳しく観察しました。みんな初めて見るプランクトンに興味津々です！



●水圧実験①

水圧実験を行った後、自分が入れた容器を探しています。どんな風に変化したかな？



●水圧実験②

もとの大きさから3分の1くらいの大きさになりました！



●昼食

最後の昼食です。もうみんな配膳はお手のもの。



●班ごとの反省会

今回の研修で良かった点・改善すべき点を班ごとに相談し、発表しました。



●清水港入港（登舷礼）

全員でサイドデッキに出て、登舷礼を行いました。望星丸ともお別れです。



●帰港式（逢坂実行委員長兼統括責任者）

荷物をまとめ、船上での締めくくりでもある、帰港式に備えます。



●帰港式（研修生のことば）

10班の今市さんが、2泊3日お世話になった望星丸の皆さんへお礼の言葉を伝えました。



●帰港式（船長のことば）

上河内船長から、研修生に向けて激励の言葉をいただきました。



●船上での
集合写真



●解散式

秦野市カルチャーパークでの解散式。逢坂実行委員長兼統括責任者からこれまでの研修を通じてあいさつがありました。



●解散式（研修生のことば）

3班の山口さんが、代表して研修生のことばを述べ、3日間の研修を締めくくりました。

天候が雨であったため、集合写真が大変
見づらくなっています。御了承ください。

5 研修レポート



【1班】

◎班長

鈴木 椿

○副班長

石橋 遥

〔班 員〕

石井 夏鈴

海野 美夕輝

加藤 隆良

熊澤 航汰

静 怜大

◆鈴木 椿

学んだことは、まず、船に乗っている時の単位（マイルとかリットとか1ピロとか）でした。マイルは海での距離を測るためにあることを知りました（1マイル1,852m、陸1,609m、リットは時速1マイル、1ピロは1.5m）。

次に船の仕組みについて学びました。プロペラは3つあり、まずうしろにあるプロペラは、まっすぐに動かすことしかできません。でも、スピードは変えられます。前にあるプロペラ2個は陸に船を近づけるのに使います。また水の深さを調べるには音を使って調べます（光だと分散してしまう）。音を船から出して地面に着いて、跳ね返って船に戻る、これで深さが測れます。また水の質も調べることができます（CTDやXCTDなどを使って）。

今回の研修で感じたことは、酔いやすい体質だと気づいたことと日ごろのすいみんがたりなくて話の最中にねてしまうことです。だから、日ごろからちゃんとしたすいみんをとりたいです。

◆石橋 遥

今回の目的にもあったように、市町村を越えて沢山の仲間やさまざまな人との交流、自主性や協調性などをやしなう、自然の厳しさやすばらしさを学ぶという目的がたてられていた。

自分はこの3つをこの研修で学ぶことができたと思う。

中でも自主性や協調性の部分が苦労したと思う。

なぜなら洋上フェスティバルの出し物をきめたさいに、なかなかやるものがきまらなかったり、劇をやるときめて練習をし始めるのがとても遅くなってしまふ場面が多かった。その時に3年生が自分しかいないことに気がつき、自分が引っ張っていく必要があると感じた。ほかの人にまかせっぱなしにしていた自分だったが、この研修を通し、人まかせではなく自分から行動しないときまらないことがあることに気づき、これからの生活（学校の活動）にいかしていきたいと思った。

そして、自分が洋上フェスティバルに出られなくなったとき、班の人が協力して自分の穴をうめてくれて班の内での人を思い合う気持ちがあることに気がつき、研修に来てよかったと思った。

研修で前の自分から少し変わることができたと思う。

◆石井 夏鈴

最初は船酔いなどがひどかったけど、だんだんとよくなり、他校の人たちとのこうりゅうで、洋上フェスティバルなどの練習をするなど、難しい事もあったけど、結果は、とても良く、見ているときも他の班の出し物はとてもおもしろく緊ちようなどすぐにとんでいました。

台風の影響により、新島にはいけなかったけど、最後では、船員の方々から教えてもらった事や、班員との交りゅうは充実した事だと思いました。

◆海野 美夕輝

洋上体験に参加してしてみて、まず、たくさんの友達ができた。自分からあまり話せず交流がしづらかったけれど、班のみんな、せんぱいの友達とかがとてもせっきょくてきて話しやすかった。この洋上体験で友達との交流の楽しさを知れたので、これからもたくさん交流をしていきたいと思った。

洋上フェスティバルではどの班もとてもおもしろかった。

事前研修で初めてあった子たちとうちあわせをし、内容を作るのが難しかった。休みの子とかもいたけれど、かわりをつくってたいおうできたのがよかったと思う。

船の大変さを知れた。家は風のえいきょうとかはかんけいがないけれど、船は風のえいきょうで行けるかや酔いがあり、とてもたいへんだった。今回学んだ交流等をこれからの生活へいかしていきたいと思った。



◆加藤 隆良

乗組員の方々から、講座や話し、ロープワークなど、生活に役立つ物や、海について深く知ることができてうれしかった。船酔いで大変だったけれど、復活して元気になってご飯がたくさん食べれてよかった。船内では、ハプニングも楽しいこともあった。

洋上フェスティバルでは、みんなで協力して、楽しくできました。どの班もクオリティーが高く、いっしょに楽しめました。

1962年からある望星丸（当時は東海大学丸）での経験を忘れずに来年も参加したいと思う。

初めて出会った先生や友達、初めての環境になれない時も、一人で判断し、行動しなくてはいけないときも何をすればいいのか、考えて行動できました。今回の研修はすごくいいと思いました。これからも望星丸といっしょに続けて行ってほしいです。

◆熊澤 航汰

こういう船は海を走っているときは進んでいるだけだと思ってたけど、初めのほうにやった船内見学の時に推進や水温を測っていることを教えてもらったので、その考えが変わりました。

星空観察が始まる前までは星なんて見えて1つや2つだと思っていたけど、じっさい船を下りて空を見てかぞえてみたら、もうかぞえられないぐらいの空が見えたので、いつもはそんなにいしきして見ていないんだなーと思いました。

次洋上体験に来た時には波や台風がない時にきて新島に行って海水浴や露天温泉を楽しみたいです。

◆静 怜大

他の市町村との交流が最近減っていたけど、今回のような交流をして、あらためて友達、仲間の大切さをした。また、友達をつくる、そして仲を深めることの楽しさも知った。だから、そのつくったともだちとの仲をここで終わりにしないで、家に帰ってからも、連絡をとりあえたらいいなと思った。

洋上フェスティバルでは、おたがいの強みを最大限に発揮できるように、相手、同じ班の人をよく知り、その人にあったことをしてもらったりした。

その他の班活動では、何か分からないことがあったら分かる人に聞いたり、分かる人どうしても、おたがいに意見を交かんし合ったりして、協力し合う、高め合うということを学んだ。

でも今回一番学んだことは、おもいっきり楽しむこと。





【2班】

◎班長

平井 陽

○副班長

小畑 大空

〔班 員〕

岩澤 光治

大曾根 愛珠

須藤 煌司

本多 真凰

丸山 芽依

吉岡 拓希

◆平井 陽

まず7月15日の事前研修では、自分は班長になった。洋上フェスティバルなどの意見をまとめるのは大変だったけどだからこそやりがいがあった。そして洋上フェスティバルでは事前研修で役とかをきめて研修ではリハーサルなどを行うことで成功させて3位になることができた。やっぱり本番前の準備の大変さをあらためて知ることができた。2日連続で花火をみたりしたけどきれいだっ。他の学校の仲間といっしょに見る花火はきれいに感じた。船よいなどいろいろ大変なことがあったけどそういうことを仲間たちと一緒にのりこえていくことの大切さに気付くことができた。東海大の人達と交流することができた。船のつくりなどについても学ぶことができた。将来役に立つかわからないけど人生経験では大きいものだと思った。今回はおまえ崎だったけどもし次参加する時は新島に行きたい！！

◆小畑 大空

事前研修で他校生と初めて会った時全然喋れなかったり、ふれ合うことができなかったけど、今回の本研修で班と色々喋ったりしてたら、すぐに他校生と話をできたり友達になれた事が一番うれしかったです。特に知れて良かったことが望星丸の機会の構造が知れたことや、洋上フェスティバルの班の皆が終わった時に大学生達が望星丸についてクイズをしてくれて船はなんのために役に立つのかもアドバイスをしてくれてとても将来につながる勉強になりました！！3日間お世話になりました。来年も行きたくなりましたので、洋上体験研修が中止にならないようにお願いします。

◆岩澤 光治

船に乗るのは、心配だったけど、ふつうにたのしめたし、友達もできた。自分がやらないようなことがあって参加してよかったと思った。また洋上体験に行つてこの3日みたいに楽しく体験したいです。

楽しかったことは、船がゆれたこと。食事がおいしかったこと。みんなと話したこと。ロープワーク！！

◆大曾根 愛珠

全く船のことを知らなかったけど、船内見学を通して船のことをよく知れたし、海や船のお話をたくさん聞くことができ、知識を増やすことができたし、船にも興味をもつことができた。

◆須藤 煌司

洋上体験研修に参加して他校の生徒と交流したりして、参加してよかったと思った。また、船に乗った感覚を知ることができた。船酔いのつらさを初めて体感できた。船の設備など見たことがないものまで見せてもらって感動した。船の生活は難しいと分かった。花火を見て楽しかった。自分の中で洋上体験研修はとても楽しかったし、たくさんのことを学べた。来年は新島に行つておもいきり楽しみたい。

◆本多 真凰

私は今回の洋上体験研修に参加してみて、色々な性格の人達をたくさん関わったり、みんなと行動していくことで、時間を気にしたり、人の話しをしっかりと聞いたり、自分自身が成長していくところがたくさんありました。

そして、最初はあまり、話しかけたりすることはできなかったけど徐々に話せるようになってきて、私がこの体験をした大きな目標である「人見知りを直す」を少し改善できたと感じました。私は来年から高校生になり、なにも知らない人と話す機会がたくさん増えると思うけど今回の体験をこれからの高校生活に活かしたいと考えました。また今回の体験から船についてもたくさんことを学びました。特に、船内ではバランスが取りにくかったり、ルールを守ることの大切さや水深などは音を使って調べることができるなど、この体験をしないかぎり、分からないことがたくさん知れました。



◆丸山 芽依

研修前は、他の人と仲良くできるか不安だったけど、フェスティバルとかのイベントを通じて、他校のひとや、同校の先輩いと仲良くできたり、友達になることができ、いい経験になったと思う。ロープワークとかでもおぼれたときにこの結び方をするといいいよって教えられてこれからの人生に役だつことがたくさん学べてよかった。

◆吉岡 拓希

ぼくは人とはなすのが苦てだったけど、みんなやさしくせったり、はなしたりしてくれたので、いっしょんで楽になれました。それに研修生だけじゃなく大学生たちもとてもおもしろく、やさしくせってくれてうれしかったです。洋上体験では、みんなでの団結力、コミュニケーション、船でまんがいちなんかあったときにたいしょする方法等を教えてくれたのでとてもありがたかったです。さいしょに船にのった時に、とてもゆれていたのが楽しみと不安で五分五分でした。海には入れなかったけど花火大会もたのしかったし、フェスティバルもたのしかったのでよかったです。これからも洋上体験で学んだことをいかしてがんばっていきたいです。



【3班】

◎班長

山根 愛蘭

○副班長

平田 空

〔班 員〕

井上 真緒

小峰 瑠璃

渋谷 尚牙

内藤 正智

山口 權斗



◆山根 愛蘭

今回の経験から船のそうさのしかたやロープの結び方について学びました。そして学んでいくうちに少しずつ友達ができ、より楽しかったです！！

ふだん、一緒にいない人とも協力して何事にも取り組めて良かったです！！

少し残念なのが、大人が話している中で班内が少し騒がしかったのが残念です…

しかし皆笑顔で3日間すごせたので、それは一生の宝物です！！

また洋上体験に参加できたら、とてもうれしいです！！

◆平田 空

今回の洋上体験をつうじて、班の課題をしらなかつた人とのりこえていく楽しさをしました。船の仕事はストレスのたまる仕事だと思います。船の中は機械がたくさんあってそうさがむずかしいと思いました。船をそうじゅうする部屋がおもっていたよりもちいさい事にびっくりしました。

また、船の食べ物がとてもおいしかったです。船が広くてまよいそうになりました。

海にははいれなかったけどとてもいい思い出になりました。部屋もまどがあり、もりあがって楽しかったです。

◆井上 真緒

知っている人が全然いないなか緊張していたけど、いろいろな人から声をかけてもらって、班の部屋のメンバーと仲良くなることができました。人見知りの自分を少し直せたような感じがしました。台風の影響で新島に行けなくなったのは、とても残念でしたが、そのかわり班のメンバーと関わる事が多く、そして、メンバーは個性豊かでおもしろい人ばかり

りなので、とても楽しい時間を過ごせました。新島に行けない分、花火や星空をみることができて、貴重な経験もできました。

洋上フェスティバルでは、班のメンバー全員で取り組むことができ、他の班の発表もおもしろいものがたくさんあってあきることなく見ていられました。今回の洋上体験研修では、人との関わりを知れたと感じました。この人との関わりをこれからうまく使うようにしたいと思います。

◆小峰 瑠璃

海や望星丸のことを学べたと思います。

海の調べ方や海の深さなどがくわしく説明できていてすごいと思いました。

望星丸のことをくわしくクイズなども出てきてもりあげながら発表できていてすごいなと思いました。

この体験でいろいろな人たちとかかわることができました。

◆渋谷 尚牙

海に行けなかったけど、望星丸のことをしれてよかったです。最初は仲間とも話すことができななかったけど三日間いっしょにいと、仲間とよく話すことができ、また、望星丸の歴史もしれてよかったです。

船員の人やロープワークや望星丸のことを教えてくれたから海水浴に行けなくても、楽しく過ごせてよかったです。

◆内藤 正智

最初行く時は、本当に心配だったけど、すごしていくうちに仲良くなって盛り上がりして楽しかったです。フェスティバルでは、ちがう班でも楽しめたりいんしょうにのこる人がいたりして楽しかったです。海のことばぜんぜん知らなくて、海底を調べる機かいと海図を自動で書いてくれる機かいなど興味をもてたのでよかったし、船員の人お話を聞いて「なるほど」、「確かに」など、わかりやすく説明してくれたので、頭に入ってきやすかったです。短い間でたくさんの思い出がつくれたので、またここにきてみんなに会いたいです。



◆山口 權斗

最初は、話すこともできなかったグループだったけど、2日目には、グループ全員と普通に話すことができるようになった。

台風6号の関係で新島に行けなくて、悲しかったけど、第二の場所でも十分楽しめたのはすごいと思った。こういう計画の力は、すごいと思いました。自分は、2日目色々な先生とコミュニケーションを取れたし、洋上フェスティバルでは、周りを盛り上げたり、恥ずかしがらずに声出すことができた。これは、すごく良い経験だった。

船員の方がたくさん教えてくれたりした。100人近くいる人にひもの結び方を教えていたり、船の中を見せてくれたり、自分たちではなく、大勢の人達の協力があって、できる交流会だった。

洋上フェスティバルでは、個人タイトルの枠を増やしてほしい。





【4班】

◎班長

能戸 姫愛

○副班長

瀬古 空真

〔班 員〕

石井 祐太郎

岡本 華子

小林 柚月

成澤 順太

埜 巨太

馬場 千聡

水上 雄太

◆能戸 姫愛

私は、この洋上体験研修に参加して良かったです。

なぜなら私は、コミュニケーション能力が低く、この体験に参加する前は、行きたくないなと思っていて、人と仲良くできるか心配でした。しかし、いざ行ってみると、班の人と協力したり、交流ができ、とても良い経験ができたと思います。ここでしか知れないことや、海について、様々なことが身についたと思います。

私は3年生で次は参加できないけど、この経験を大事にし、次のこういう機会に活かしていきたいと思います。

◆瀬古 空真

初めてこういうイベントに参加して、新島には行けなかったけど、たくさんの人と仲良くなれて、たくさんの人としゃべることのできた3日間でした！海の上といういつもと違う環境で学ぶことも、感じることも違ったこの3日間というのは、ただ「友達と仲良くなれた」や「楽しかった」ではおさまることのできないイベントでした。時間があっという間に過ぎていって、少ない時間でしたが、洋上体験研修に来た一人として、意識をもって、楽しい思い出いっぱいできることができました。本当に楽しい時間をありがとうございました。来年もあるのなら参加したいし、3日間のできるようになった事や新しくできた友達などしっかりと心に残し、これからも大切にしていきたいと思います！

◆石井 祐太朗

海での生活は、いつもの生活とは、違うからびっくりした。理由は、船の中はすごくゆれていて家の中よりきけんだったけどなれるとこわくなくなりました。

個人的に思った事は、船の中での生活は、最初はなれなかったけどいろんな他の学校の人と話せるようになって船の中の生活もだんだんとなれてきたから良かったです。

反省点は、当番の準備を早くかかれば良いと思いました。けど意外に早く起きたからいいと思いました。

◆岡本 華子

いつもの生活とは違う、新鮮な事ができた。家族とか、友達以外の人間と一緒に生活するのは、修学旅行以来なので、緊張もしたけど、わくわくしたし、楽しかったです。

花火もすごくキレイだったし、流れ星も見れてすごくラッキーでした。

反省点は、朝が弱くて二度寝して遅れちゃったので気をつけます。

海もすごくきれいな青で心が洗われました。

洋上フェスティバルは、見直さなきゃいけない部分もあったけど、楽しめました。

◆小林 柚月

今まで船に乗ったことがなかったので、複雑な道に迷ったり、知らない先生の第一印象が個人的にこわかったので、話しかけるのに精神を使いはたしました。

船内見学では、船員さんの案内で、見たこともなかった装置や部屋、器具などを説明してもらい、とても興味がわきました。船の中では、水がとても大切なので、使う水を減らすために、トレーにラップをかけているのかなと思いました。

最初は話す人が絶対にできないと思っていたけど、思ったより話したらおもしろい人がたくさんいたので、すぐに話すことができた。右側通航を身に付けると、すれちがう時に素早くよけることができると分かりました。

ブランクトンは、
び生物みたいな生き物かと思ったら、浮遊しながら生活する生き物だということが分かったので、び生物とは少し違うことが分かりました。



◆成澤 順太

まったく知らない人と関わること、学ぶこと、協力することは難しいことで大変でした。でも、最初に一言でも、話したり、えしゃくするだけで、だいぶちがくて、そこがはじまりだと思った。いつかまた同じような機会があったら、もう少し積極的に頑張りたいと思いました。また、この研修では、船内見学や船員さんとの交流により、望星丸についてや航海などの海全般について、詳しく知り、興味を持ちました。この体験を学校生活や日常生活に活かしていきたいと強く感じました。

◆塙 巨太

この洋上体験研修では、たくさんの経験、そして仲間と協力して楽しみにしていた洋上フェスティバルをさらに楽しめたり、食事などもふつうに食べるよりおいしさが上がったりなど、楽しい経験ができました。今回のこの体験を楽しく過ごせたのは、先生方や船員の皆さんの努力のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

◆馬場 千聡

自分自身、自ら行きたいと願って応募した訳ではなく、友達に誘われたので参加しました。正直言うと、面倒だなあなんて思いながら当日を迎えました。また、僕は比較的内気で社交的じゃない方だと思います。人が多い所が面倒であり、今回の研修に参加するのも不安でした。意見をしっかり伝えられるかちゃんと言えるか、伝わるか、仲良くなれるか本当に不安でした。それがこの研修で全て上手くいったかと言うとそういうわけでもなく、声が小さくて聞き返されることや意見が伝わらなくて共有できなかつたりと、反省点は沢山あります。それでも楽しかったし、珍しい体験を沢山できました。あんなに青い海を近くで見たのははじめてです！！船に乗るのもはじめてでこんなに揺れているんな部屋があって、沢山の人がたった一隻の船にいろんな役割を持って働いているんだなと思うとすごいなと思いました。はじめの頃よりは仲良くなれたので、この研修に参加できてよかったです。また、私たちを支えて下さったスタッフや先生の皆様ありがとうございました。

◆水上 雄太

今回の研修で学習したことは、ふだんの生活にまったくかんけいしていないので、まったく知らないことがほとんどで、全部が新せんでとてもおもしろかったです。一等航海士と二等航海士と三等航海士は全て一緒の時間に働いていると思っていましたが、わかれて働いていることがわかりました。





【5班】

◎班長

高橋 七海

○副班長

帆苅 心花

〔班 員〕

梅橋 茉莉

大山 祐歩

中田 零寅

成澤 瑛太

野地 郁花

吉田 陽翔

◆高橋 七海

進学先が海洋系だったので、その最終決定のために参加しました。

実際に今学んでいる大学生の話が聞けたのと、あこがれている水先人の経験がある船長の話が聞けたのがすごくためになりました。

私達5班が一番仲が良い自信があるくらいトラブルなく過ごせました。

先生方ともあって2・3日と思えないくらい仲を深めることができました。

参加する前は初対面の人と一緒に過ごすのは難しいと思っていましたが、いざ参加してみると思っていたより皆フレンドリーですっと笑って過ごせました。

今回の研修でチームワークの大切さを再確認させられました。

一人が勝手に行動すると全員がくずれてしまったり、気づいたら1人だけ考えている状態になっていました。たくさんのが学べたので、中学生しか参加できないのがすごく残念だなと思いました。ぜひ、高校生の参加も検討してほしいです。

◆帆苅 心花

今回私は、この洋上体験によって、積極的に行動することの大切さを学びました。はじめ、この洋上体験に申し込んだとき、友達できるかな？みんなになじめるかな？とドキドキしていました。しかし、事前研修や、本番では積極的に話しかけると、みんなやさしく班の人ともとても仲良くなることができ、積極的にこうどうすることの大切さを学びました。また、今回の研修を申込みかも悩んでいましたが、後悔するのはやだし、両親に勧められたのもあり、積極的に行動しようと思い、申し込みました。

新しくできた大切な仲間との協力したスタンプの練習など、サイコーな思い出も、積極的な行動がなかったら、つくれなかったので、これからも自分の気持ちにまっすぐ、積極的に行動し、自分の人生をより色とりどりにしていきたいです。

◆梅橋 茉莉

私が今回の洋上体験研修に参加して学んだことは“センス”です。

人に迷惑をかけないことや、人とのコミュニケーションにおいてのセンスです。

例えば、花火を見るときルールを守り、人に感謝をするなど、あたり前のことをあたり前にするなどです。ご飯をくばる時などは一方通行したり、他にも沢山あります。このことを活かしてこれからの日常生活を送りたいと思いました。

自由時間には、班の人々と沢山話して「ほうれん草ゲーム」をしていました。みんなで楽しく過ごせた3日間だと思います。

他校生との交流や大学生や先生と話したりで、本当に充実した3日間でした。

望星丸は大きいし、重いらしいです。また、来年も機会があれば参加したいです。

◆大山 祐歩

この洋上体験を通して学んだことは、仲間に報告して心配をかけないようにすることです。部屋できゅうけいするときや外のけしきを見るときに報告できなかったことを反省しています。。ぼくは、けっこう人見知りで、班のみんなと必要最ていげんの会話でいいと思ってたけど、話していくうちに、楽しくなって、会話することで班員などと仲をふかめられることをあらためて気づいた。船長の話して、望星丸は、全長87.98mもあり、けっこう大きい船だなと思った。望星丸は今、約30さいで、ほとんどの船は、約20さいくらいで、他の船より10さいもとしをとっていることを学んだ。望星丸は約30年前につくられた船で、れき史ある船ということ学んだ。部屋内の仲間たちとふれあったことで、あらためて仲間の大切さをしれた。

◆中田 零寅

今回の洋上体験研修で学べたのは、仲間の大切さや時間の大切さを学んだ。例えば、自分が大事な物がなかった時もいっしょに探してくれたりして分かった。時間もその時に動かないと意味がない事に気づいた。いちばん楽しかったのは、バスの中で人狼ゲームが楽しかった。

新島に行きたかったけど、ここでまなんだことをいかして今後も頑張りたい。



◆成澤 瑛太

今回の洋上体験研修では、時間を守り、行動したり、他の研修生に迷惑をかけないことを学びました。何時にどこに集まるのか、スケジュールを確認してから、自由時間を過ごしたり、洋上の前の準備前何時に起きて支度すればいいかなど、計画をたてて、行動することが、他人に迷惑をかけない点においても大切だと感じた。また、他学校の方とも交流したことで、友達がつくれたり、コミュニケーション力が上がったと思います。空き時間では、知らない他校生に話しかけたり、班ともより仲良くなることができました。洋上体験では、ほかにもたくさんの海、船などの知識を得たり、ここでしかできないきちょうな体験ができたので、ためになったと感じました。

◆野地 郁花

私が洋上体験に参加したのは、色々な学校に友達をつくりたいと思ったからです。

参加してみて、他の中学の友達がたくさんできて、LINE 交かんもしました。5班にはおもしろい人が多くて、とても楽しかったです！

人ろうやほうれん草ゲームなどで遊びました。

研修先が新島じゃなくなったのは、とても残念だったけど、花火や流れ星を見られたので良かったなと思います。ご飯はおいしかったけど、もう少しデザートがほしかったです。先生たちもおもしろかったし、船のことも知れたので、本当に来てよかったです。でも新島にも行ってみたいので、来年もこれたらこようと思います。

◆吉田 陽翔

まず、私がなぜこの洋上体験研修に参加したかと言うと、「友達を作りたい」「船の上での生活を知りたい」この2つが主な目的です。そしてこの2つを達成できたと思っています。これからもどんどん話しかけて行きたいです。

星の観察や、船の仕組み、こう造を知りました。船には多くの人が働きかけないと動かず、様々な人が動いてからのみんなの船だと思いました。

私達の班は、一番仲が良いと思っています。少し声がうるさかったかもしれませんが、楽しい日々になりました。

これからも何かの形で仲良くしていきたいです。



【6班】

◎班長

北村 さなみ

○副班長

菊池 桜太

〔班員〕

飯村 海月

佐藤 智希

高橋 実鈴

前田 和樹

松森 宗吾

元山 優亜



◆北村 さなみ

私は、今回の洋上体験学習に参加し、他校生との交流を楽しみました。恋バナや怖い話など、いろいろ話して交流しました。普段あまり他校生と交流しないので、とても楽しかったです。

また、班長として班員をまとめました。学校ではリーダーという立場になることは少ないので、貴重な経験となりました。ある程度上手いきき、その成果もあって洋上フェスティバルで2位をとれたのは嬉しいです。6班全員で劇を楽しむことができたと思うと、とても嬉しいです。学校の演劇部では、小道具のチーフなので、この班長の経験を生かし、学校生活をより良いものにしていきたいです。来年からは大会もあるため、楽しむことを第一に良い成績を残したいです。

講話で聞いたように宇宙よりも未知な海洋に対し、面白いと感ずることが出来ました。高校生になってしまうけど来年も参加したいです。



◆菊池 桜太

私は最初、台風の影響で新島にいけなくなったり、海に入れなかったり、露天ぶろに入れなかったり、洋上フェスティバルが外でできなかったり悪い事づくしだと思っていました。

しかし、いざスケジュールが変更になったり、イレギュラーなことが起きても、一つ一つの行事、仕事などがめちゃくちゃ楽しくてびっくりしました。初めましての人がほとん

どでしたが、日をまたぐことで、しゃべりやすくなったりもしました。私は今回洋上フェスティバルで2位を取ることができてとてもうれしかったです。みんなで考えたシナリオやセリフ、つくった小道具がとても印象に残っています。

私はこの先このような経験はできないと思いますが、この体験をかてに成長していきたいです。

◆飯村 海月

この乗っている船「望星丸」について学びました。特に、あまり見ることが出来ない部屋とか見ていてとてもわくわくしました。二日目になると船酔いもなくてよかったなと感じました。学んだことは、まずロープの結び方です。一回できると何回もできておもしろかったです。あとは、きゅうめいどういの着方がわかりました。あまり、思ったように話せることは少なかったけど、楽しいこともあって全体的にみると、良かったなと思います。外で見た星座のことや、首がいたくなかったけれど、暗いから良く見える星がきれいだったし、未来の北極星がかわるとか自分とはかけはなれすぎてておもしろいなと感じました。

洋上フェスティバルでは、上手にいくか心配だったけど、それぞれがまとめる人、えんぎする人など、班で協力出来て本当によかったと思います。

◆佐藤 智希

今回は、台風のえいきょうで変更されてしまったけど、変更前の新島の露天風呂、ウォークラリー、海水浴などが変化されたけど、変化後でも十分に楽しめ、洋上フェスティバルはグループワークで他校、班内のきずなを高めれたり、1位、2位、3位には賞品がもらえたり、海洋に関する講話でも1位でしたが、賞品があり、楽しめ、特に洋上フェスティバルでは時間が少ないにもかかわらず、色々な人の班の出し物はすごいと思い、自分たちの班は2位でしたが、とても楽しめました。花火は二日連続でありましたが、1日目は近い場所で見れましたが、2日目では遠く音の発せいで光っているのに、音が遅れて聞こえているのが不思議なかんかくでおもしろかったです。

◆高橋 実鈴

私は、今回いろいろな事をまなびました。まずはロープワークを教えてもらった時、3つのむすび方をおそわりました。ただ、その3つだけでもいろいろな事につかえると考えました。例えば、モヤイむすびはキャンプのテントやタープを立てる時に役立てられそうだと思います。リーフノットは物を下につるす時につかえそうだと考えました。すぐにほどけるのも便利で、使い勝手がいいので、今後日常生活に生かしていきたいです。次に洋上フェスティバルの時私の班はげきをやったのですが、自分のやなものはあまりセリフがなかったので、その分手先が器用なことを生かして小道具づくりに力を入れました。そして自分の班は洋上フェスティバルで2位をじゅしょうしました。自分のとくいなことをそれぞれ生かすのが、真のチームワークなのだということを学びました。

◆前田 和樹

今回の洋上体験では、こうして海で船に乗れているのは、最ていでも20人以上の人や数々のきかいも必ようであり、その人と物との協力が必ようなので、少し感動しました。そして、その物を動かすことのできる人々にあこがれに似た感情とロマンを感じました。この先の生活に交流力は必要なので、交流力をつけさせてくれた先生方に感しゃします。この洋上体験で少しでも自分の新しい道が拓けたと思います。

洋上フェスティバルでは、ナレーターとして心を込めて役をえんじきれたと思います。1マイルが約1,852mということなど、この研修で学んだことは思い出とともに心に残り続けます。そして、英語を学んでみようと思いました。

◆松森 宗吾

今回の洋上体験で感じたのは、先生がたの努力です。理由は、今回は台風が九州に来て新島に行けませんでした。事前にプログラムを直しておき、空いた部分もちがう体験をすることができ、新島に行けない分も楽しめることが出来たと思います。さらに自分たちがねた後も話し合いや消灯に見回りまでして本当に良い研修になりました。

もう一つは他の同じ研修生の心づかいです。ろうかや食堂の通路で会った時にスッとよけてくれたり、初対面でも気がるに話してくれたりして、同じ班の皆は洋上フェスティバルの出し物ことなどの意見をたくさん出してきて、本当に助かりました。次に会えるのは会えるとしても本当に一部だとしてもまたどこかで会えたらとてもうれしいです。最後は、望星丸の研修生の人やクルーの人達のやさしさです。研修生の方々は、船内の様々な場所を細かく教えてくれ、さらに洋上フェスティバルにも出ていただき、賞品まで用意してくれて本当にありがたかったです。クルーの人達は僕達のために、5時間かけて御前崎港まで乗せてもらい、さらにそうじゅう室の様々な設備まで教えてくれて本当に優しかったです。もし行ければ来年もこの研修に来たいです。

◆元山 優亜

学んだことで、一分の時間でもみんなの時間を取ってしまうということを理解しました。

そして、他校生との交流、会話、コミュニケーションが大事だと思い、これからはいかそうと思いました。感じたことはまずしょうとう時間越えて話すのが、めちゃくちゃたのしかったです。あと、星座の観測で知っている星座もあったけど、見たことなかったのが楽しかったです！！そして、洋上フェスティバルで使った小物類を頑張って作って、リハをちゃんとやったせいかたのでしょう。なんと「2位」をとれました。これらをふまえて、今回洋上体験研修に参加して、ものすごくよかったです。

また、洋上体験研修がやるようならば、参加したいです！





【7班】

◎班長

大西 葵

○副班長

杉本 辰敬

〔班 員〕

雅楽川 和希

田北 緯

中田 夕織

滑川 陽菜

藤澤 優羽

堀江 紫月

◆大西 葵

他校との交流で人の気持ちを考えて行動したり、上下関係だったり先生がたとの関わり方が知れた気がします。

最初、船酔いした時、自分の周りの人が、心配してくれて冷静に行動できて安心しました！！

食事の片付け、お皿ふきでは、一日目のお皿ふきは、行動が遅く、ちがう班にまかせっきりだったけど、班の班でもでて、二日目には、班で助け合いをして、片付けができてとても良くなったと思いました。

私は、初めて船に乗りましたが、とても揺れるし、少し怖いし、班長でしっかりしなきゃという気持ちがすごく大きくて、心配だったけど、副班長も、班のみんなも私を支えてくれて最後まで頑張ってくれたと思います！

今後にも交流のようなものがあったら、少しでも興味を持ってみようかなと思いました！！今後の経験ができてありがたいと思いました。最後まで班でケンカせず楽しめたのが嬉しかったです！！

◆杉本 辰敬

洋上フェスティバルでとても盛り上がったのがとても楽しかった。準備では班員と交流でき、寝不足ながらも本番を楽しみに準備できた。自分は、洋上フェスティバルの出し物で、問題に答える役であったが、答えを知ってはいけないとはいえ、本番は班員以外が質問することなど知らなかったのもう少し話し合いに参加すればよかったと思うところもあった。しかし、本番は見ている側もチャレンジャーも楽しめたと思う。

何より自分が一番楽しかった！

◆雅楽川 和希

今回の研修で船や海のことについてたくさん学ぶことができました。なかなかない経験なのでとてもよかったと思います。

また、他学校や他学年の人と交流ができてよかったと思いました。

今回は台風の影響で新島に行けませんでした。次行ける機会があれば行きたいです。

◆田北 緯

この洋上体験研修に参加してみて、せつめい会の時よりかは、班の人と話をしたりとなかよくなったと思います。せつめい会ではなく当日にきてみて、大がたバスに乗る前はすごくきんちょうしたり、こわかったりでしたが、いざのってみるとよこにすわっている人とも、なかよくなってよかったです。そのあとバスをおりてぼうせい丸にのった時やようじょうフェスティバルの時は前に出るのがこわかったけど、いざやってみれば楽しくてしょっきのかたづけなども、班のみんなでがんばったりしてよかったです。あと船ではナビをみれてよかったです。ほんとに2はく3日はたのしかったです。

◆中田 夕織

私はコミュニケーション力が全然なかったけど、色んな人が話しかけてくれたのすごく楽しかったです。

事前研修と本研修だけだったけど、友達感かくで2泊3日すごせました。

でも2泊3日ちょっとなごりおいしい部分がありました。

来年も来ます！

◆滑川 陽菜

今回の洋上体験は、初めて参加したので、新鮮でした。新島に行けなくなったのは残念でしたが、それはそれで、良い経験になりました。1日目で船酔いになったので、少し苦い思い出もできました。しかし、船内見学などを通じて様々なことを学べたので、結果として良い思い出となりました。2日目では、洋上フェスティバルがあり、各班の出し物を見る中で、共通点を見つけました。それは、班全員が協力し、楽しんでいるということです。このことから、他人と協力し、楽しんでいる、見ている方も楽しくなるということを学びました。その他にも、望星丸は30さいということやスピードがおそいことなど船に関する知識も多く学べ、じゅうじつした3日間となりました。次回も参加したいと思いました。



◆藤澤 優羽

海のふかさとかをきごうを使って表すのが、すごいと思いました。だからこのきごうとかができているうんてんしゅの人達はすごいと思いました。上からみていて、海の色が深さによってちがうのが、青と水色でわかってうれしかったです。海の上で生活していくのにせいげんがあってその中でやるのが少し大変で本当に今までの家でごはんたべて、お風呂は行って、ふつうがどれだけよいかのかがわかりました。でも、ごはんとか食べるのにみんなで協力したから、食べれたと思うので、大切だと思いました。望星丸の説明で80mの長さが前に進んでいてとてもおおきいのをうごかすエネルギーがどれくらい必要なのか気になりました。調査のことで深さを音で確かめるのが、すごいと思いました。トイレに書いてあった酸性、アルカリ性の洗剤がダメな理由が、海のプランクトンとかに害を与えるからとかいてあったので、自分達だけではなく、海の事も考えていて、自分ももっと自然を大切にしようと思いました。せんぱいとかとも協力してできたので、「イライラ」と「おこる」というのがなかったのがよかったです。10m1気圧のことをりょうしてブタメンの容器を小さくしていると思うから、海と化学もかんけいしているなと思いました。よっちゃってきもちわるくなった時もあったけど、みんな優しく協力してできたので、楽しく勉強で、色んなことが学習できました。

◆堀江 紫月

班の子や、室の子と協力してやらないといけなかったから、朝は室の子と起こし合ってみんなねぼうせず起きて良かった。ご飯のかたづけも役割分担してかたづけたりして協力して過ごせたのが良かったです。

船酔いした子や気分が悪い子などに声をかけ合って助け合ったりもしました。班で行動したりする事が多いから一人でも好きなように動いていたら班にめいわくをかけちゃうからみんなの事を常に考えて行動しないといけないということを学んだ。洋上フェスティバルの時に最初は保健室にいたから練習に参加できなかったから不安だったけど、班長が教えてくれて楽しく参加する事が出来て良かったです。





【8班】

◎班長

山口 美優

○副班長

船木 貴仁

〔班 員〕

石川 花菜

梶原 彰人

勝亦 蓮輔

加藤 帆葉

森 喜埜

◆山口 美優

話したことがない人が多い中で生活し、班長してまとめたり、もっと案がでるように聞いてみたりして大変だった。

台風の影響で新島に行けず元の予定と違ったけど、もとの予定にはなかった花火が2回も見れてよかったです。

船内見学や望星丸について説明を受けて船のしくみや航海士さんについて知らなかったことをたくさん知れてうれしかったです！

洋上フェスティバルは当日の練習のときも男子組がしっかりできるのか不安だったけど思ったよりよくできて、1位をとれてうれしかったです！

これからは洋上体験でみにつけたことを生かしていきたいです。

◆船木 貴仁

色々な人との出会いがあって、初めはとても緊張していて話かけることですら不安があったけれど、意外と仲良くなれて気軽に話せるようになりました。そのため色々な人に話しかけてみて、どのような話し方をすると仲良くなれるのかを学ぶことができました。

事前研修とは雰囲気は軽く楽しめました。

今回の洋上体験は新島に行けないなどのトラブルもありましたが、これもこれで良かったと思います。他には洋上フェスティバルに向けて念入りに練習をしていたため、「1位」という輝いた称号をもらえてとても嬉しかったです。また、研修生の人達のクイズにも見事全問正解して「1位」と取ることができました。

僕はかなり YouTube を見るので、一日が短く感じてしまうけれど、洋上研修に来たことでスマホに触れる機会が少なくなって、一日が長くとっても楽しいと思えました。また

外の景色や海など自然のものをみることで心を落ち着かせることができました。
新しい人との出会いで楽しめたことが中々なかったので、とても良い機会になりました。

◆石川 花菜

私は、この洋上体験に参加して、他校の子たちと積極的に交流できたことと班や部屋の人たちと協力し、洋上フェスティバルなどの時間を一緒に過ごせたことが楽しかったです。関わったことがほとんどない人が多い中で、少しずつ話したりして、気軽に話せるようになったので、これからこのような場面があった時には、今回の事を思い出したりして、活かせるようにしたいと思いました。

また、ちがう班の人とかでも、少しでも多く関わられるように意識できたので、今後も意識していきたいと思いました。

◆梶原 彰人

私は、この洋上体験を通じて、様々なことを学習しました。

一つは、食べ物の尊さ（フードロス）です。食事を行うときに片付けをしていると、多くの食べ物がごみとなっていました。とてももったいないと感じたので、これからは残さず食べたいと思います。

次に船の上での生活の仕方です。船の上では、水が大切であり、節水しなければいけません。みんなで意識して生活することは大変でしたが、一方で船の上からみる景色はすごくきれいで感動しました。

ほかに、大学生がクイズをやってくれて、「1位」になりましたが、賞品としてもらったコーラが酔い止めになることは知りませんでした。

今回は望星丸の方々には楽しませていただいたり、安全な航海を提供していただき、ありがとうございました。

◆勝亦 蓮輔

今回の洋上体験研修を通して、最初の方は周りになじむことができなくて、さびしい思いをしていましたが、2日目になってみて班の人とも話をしたりすることができるようになったので、ほぼ初対面の人とも自分は仲良くなることができるのだと自信が付きました。また、普段とは違う船の中にいるわけなので、ただ家にいるだけの時よりもよい人生経験になったのではないかと思います。花火を見たり、洋上フェスティバルでの物語やクイズ大会で優勝したことはこの夏のよい思い出の一つになったと思いますので、この洋上体験はとても忘れない思い出になったと思います。



◆加藤 帆葉

私は最初、望星丸や、乗船員の皆さん他校の人におかたいイメージを持っていました（海上保安庁のような）。しかし、事前研修で班の人たちと色々な形で協力し合い、本研修では望星丸の中をととてもいねいに分かりやすく教えてまわってくださったり、ロープワークも結び方を私たちができるまで教えてくれました。洋上フェスティバルの後にも望星丸についてクイズ形式で説明してくれたおかげで、きんちょうがほぐれてのびのびと2泊3日を望星丸で過ごせました。

なれない船上での生活が、今は恋しいです。8班の人たちとは、洋上フェスティバル、大学生の皆さんたちによるクイズで「1位」をとれました。このメンバーだから成し遂げられたと思います。海が青いところをこの目で直接見て、写真に残せてよかったです。なぜ私は3年生なんだろう、また来年も参加したい、そう思える2泊3日でした。

長いようで短いようなとても充実した時間でした。

◆森 喜埜

船は思ったより、酔いました。スマホの充電器は、こういう時に、絶対持ってきた方がよいなと思いました。

事前研修の時は、雨がもし降ったら最悪だと思っていたけど、本番の研修では雨が降っても意外と楽しかったです。

だから来年も研修に行きたいです。



【9班】

◎班長

遠藤 善大

○副班長

アンバット勇人

〔班員〕

秋本 陽妃梨

小野崎 誠

高橋 杏

羽切 翼

六車 虎太郎

山岸 小桜



◆遠藤 善大

他校の生徒や先生との関わりがあったことで、学校だけでなくいろんなところで使えていけると思います。

この体験で班での劇などのところでみんなとの仲を深めていけて研修が楽しくできてよかったです。

今回は、新島にいけなかったけど「洋上フェスティバル」は全力でできたのでよかったです。学校生活で班をまとめたりする力がついたと思います。あと、新しい友達を作る力も付いたと思います。

洋上研修はまた来たい。

◆アンバット勇人

洋上体験研修に参加して、みんなとコミュニケーションがとれたり、相手のことを考えてこうができるようになりました。でも新島にいけなかったのはざんねんだと思いますが、そのかわり花火を見れて嬉しかったです。洋上体験研修だけ相手を考てるだけじゃなく、通常のせいかつでも使っていきたいし、している人だけじゃなく知らない人にも話しかけていきたいと思いました。

この研修は忘れられない思い出です。

◆秋本 陽妃梨

1日目バスで移動し、清水港に着き、船に乗りました。船に乗ってなみで船がゆれて船酔いしました。朝早くに起きてねむいのおなかがへり、もっと気持ち悪くなりました。

少しねたら楽になり、昼ご飯を食べました。1日目はすごくおなかがへっていて昼ご飯を食べたときはすごくおいしかったです。

1日目のごはんの美味しさは忘れません。全部のごはんがすごくおいしかったです。他校の人といっぱい話をしました。

ろうかですれちがって話したらノリ良く返事をしてくれてうれしかったです。みんな可愛いし優しかったです。友達が増えて良かったです。休憩時間が1番良かったです。なぜなら色々な人としゃべれたからです。

◆小野崎 誠

1日目の朝に新島に行くことができないとき、とてもショックで洋上体験に行くのが少しいやになったけど、班の仲間がとても仲良くしてくれたおかげでマイナスな気分からプラスの気分になり替えることができました。だから、友達を大事にし、仲良くする事がとても大事だと思いました。

今回の研修で節水はとても大事だと学びました。なぜなら今まで家では水をながしっぱなしにしたり、シャワーをむだにあびたりしていましたが、船の上ではそれは許されない事でみんなが協力して節水していかないといけなかったからです。

◆高橋 杏

洋上体験の班の人達と関わって話し合ったり、洋上フェスティバルの出し物の話をして、出し物は劇になり、金太郎をやることになって、刀と軍配（小道具）を作ったり、最初は妹役でしたが、あとではずかしくなって、班の人に行きナレーターにしてもらって、洋上フェスティバルで劇をして、3位以内に入れませんでした。個人的には結構よかったです。

班の人や同じへやだった人とお話してちょっと仲良くなれて、初めての人とお話する勇気が学べたと思います。

◆羽切 翼

今回は、新島に上陸できないなどのハプニングがありましたが、実行委員会の方々や先生方のおかげで有意義な時間がすごせました。その中で私は、普段関わらなかった人との関わり方や、みんなで意見をまとめ、人前で発表する力がつきました。

それに思いでがたくさんできました。1日目は事前研修依頼の仲間と揺れる船の上でご飯のしたくや、洋上フェスティバルの支度をしてとても楽しかったです。



2日目は、沢山の準備をした洋上フェスティバルもとても楽しかったです。3日目は、研修レポートの記入や、良かったところ、次に向けての話し合い、それに3日間お世話になった望星丸と一緒に過ごした。仲間との別れはさみしいけれど、ここで経験したことを私生活や、学校生活に生かしていきたいです。

◆六車 虎太郎

1日目は、ハプニングがあり、行きたかった新島に行けませんでした。それに船でよってしまい、こなければよかったと後悔してしまいました。でも2日目から船よいもしくなり、花火もあり、楽しい1日になりました。3日目は、朝からおいしいごはんをたべ、3日間お世話になった船をきれいにしました。

ブタメンを小さくするやつをやってびっくりしました。

どうしたらブタメンが圧縮されなくなるのかかんがえることになりました。

◆山岸 小桜

1日目で1番楽しかった事は、ロープワークと花火鑑賞と星空観察でした。ロープワークは色々なむすび方を教えてもらって、出来なくても他の人に聞いて出来るようになって良かったし楽しかったです。花火鑑賞は友達と見れて楽しかったし、星空観察は色々な星のことを聞けたし、家ではまわりの物がじゃまで星が少ししか見れないけど、星空観察の時は、雲もほとんどなくて楽しく見れました。

2日目は、洋上フェスティバルが1番楽しかったです。

洋上フェスティバルで班の人と劇をやれて楽しかったし、他の班の人の出し物も見れて楽しかったです。

ふねに乗ることはもうないかもしれないから良い経験になったなと思いました。はじめて会う人といつもなら話さないけど、話せるようになったので、コミュニケーション力が上がって良かったです。





【10班】

◎班長
墳原 健太
○副班長
今市 テレサ
〔班 員〕
浅野 結
中村 秋音
森村 悠介

◆墳原 健太

私が今回の洋上体験研修に参加して学んだことはやはり集団行動が大事で基そだということです。班行動が多かったので、班のメンバー全員で行動することがとても重要でした。班のメンバーが1人でもいなくなってしまうと、行動ができないので、これからも意識していきたいです。

CTD や総長室など、普段は見れない場所を乗組員さんがわかりやすく解説してくれたのでよく理解できました。

洋上フェスティバルでは人数がかわったりとトラブルがありましたが、仲間と協力してのりきることができました。1位になれなくてとてもくやしいです。

船酔い等も初めてだったので、今回の研修は私にとっての初めてがたくさんありました。

◆今市 テレサ

洋上体験に参加して本当に良かったと思います。家に帰るのが寂しいです。他の学校の人たちと会えて新しい友だちもできて、これから高校などに行く時にもどうやったらみんなと仲良くできるか分かって安心しました。

台風のせいで新島に行けなくて、海水浴や露天風呂に入れなかったのは残念でしたが、洋上フェスティバルの本番で班のみんなと楽しくやれてとても嬉しいです。

花火大会も二回もみれてすごくきれいでした。星空観察をしていた時にすごくきれいな流れ星が見えてとても心に残りました。色々な星座の事も教えていただいて、次に星空を見る時は、色々な星座を見つけたいです。

この三日間は一瞬で過ぎてしまって仲良くあった友達と別れてしまうのが悲しいです。この三日間は私の一生の思い出です。

◆浅野 結

ずっと楽しみにしていた研修に参加できたという嬉しさと、知らない人とうまく関わって2泊3日を無事に過ごしていけるかの不安が入れ混じり、とてもわくわくしていたのですが、自分が思っていた以上に周りに優しい人が多く、感じていた不安や緊張はすぐになくなり、とても楽しむことが出来ました。自分の中で、人との関わり方、臨機応変に対応しようとする姿勢が力になったと思っています。

いつもあるものがない、少し不自由さを感じる旅で、改めて普段の生活のありがたみを思い知らされました。

船酔いもここまで多くの中学生と過ごすことも、私にとって初めての貴重な経験でした。これからの生活に活かしていきたいです。

また、海洋や船についての興味が出てきたので、将来につなげていきたいと思います。

これから先、人と関わり、みんなと協力することの大切さを知り、体験する良い研修になりました。



◆中村 秋音

船上の楽しさや苦しさ等日常生活と離れた日々での新しい楽しさ、苦しさを乗り越えたときの達成感が自分が成長したという合図だと思った。

船の設備やエンジンなどのあまり見れないものを見て、新しい知識が入ってくることに深い喜びを感じた。また、新たな疑問がたくさん思い浮かんできた。自分がまだ成長出来て、未来があるというあたり前のようにあたり前ではないことへの不思議な気持ちが日常生活であまりおもわないことに残念な気持ちになった。けれど「ちりも積もれば山となる」という言葉を胸に抱いて、頑張っていこうと思った。船の上での不自由な生活もとても楽しかった。

◆森村 悠介

一番楽しかったのは、他校の人との交流です。理由は、いつもはあまり会わない他校の人と話してなかよくなれたからです。次に楽しかったのは、洋上フェスティバルです。理由は自分がキャラを演じたり、みんなで協力したり、他の班の発表がおもしろかったりしたからです。

学んだことは、時間の大切さ、協力の大切さです。時間の大切さは、自分が少し遅れただけで班全体が遅れると感じたからです。

協力の大切さは、みんなで協力したからこそ楽しく研修できたと思ったからです。



6 指導主任、指導担当の感想

◆指導主任 池下 輝（秦野市教育委員会教育指導課）

台風第7号の影響で出航できるかどうかも心配された4年ぶりの洋上体験研修は、多くの関係者の方々の協力をいただいたことで、当初のプログラムから変更点はありましたが、大きな怪我や事故が起きずに実施でき、参加してくれた中学生にとっては、間違いなく素晴らしい経験となったと思います。

7月の「事前研修」では、周りの雰囲気伺いながら、緊張や不安など硬い表情を見せる参加者も多かったですが、船と同じ空間で、大きな波に揺られ、一緒に食事をして、満天の花火を見て、たくさん語り合うなど、普段の生活から離れた2泊3日の体験を共にしていく中で、最終日までには仲間との距離が縮まり、自然と声を掛け合い、共に笑い合う姿が随所に見られました。

「参加してみよう」という内発的動機は、人を成長させるものですので、今回の参加者全員にそれぞれの成長があったと思います。これからもぜひ今回の研修で学んだことを、日々の生活に生かしてください。



◆1、2班 指導担当 高橋 佳菜子（秦野市立渋沢小学校教諭）

事前研修では、緊張した面持ちだった子どもたちが、本研修を終えて解散するころには、ずっと前からの友だち同士かのような関係性になっていたことが印象的です。「まだ帰りたくない」、「明日も会いたいね」と言葉を交わしていました。普段の生活では関わることのない様々な地域の人と、非日常の中、協力して過ごしたことで、いつもの友だちとは違う絆を深めたのではないかと思います。

指導スタッフとして参加して、中学生の行動力や自分たちでやり遂げる力に驚きました。班長さんを中心に声をかけ合っていたり、洋上フェスティバルでの班ごとの出し物を一生懸命考える姿に感動しました。今回は、船内での洋上フェスティバルになり、子どもたちは残念そうな様子でしたが、ゼロから出し物を考え、より面白くなるようにアイデアを出し合い、全力で楽しんでいる子どもたちの姿が見られてうれしく思いました。

今回、このような貴重な経験をさせていただき、私自身も大きな学びとなりました。夏休みの貴重な時間を使って参加してくれた子どもたち、運営に携わってくれた多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



◆3、4班 指導担当 鈴木 杏奈（秦野市立渋沢小学校教諭）



様々な地域から来た中学生たちが大きな船の上で三日間を共に過ごし、一緒にご飯を食べたり、同じ部屋で寝たりなどの共同生活に緊張しながらも、様々な活動を通して少しずつ会話が増え、仲が深まっていったように感じます。初めは戸惑っていたご飯の準備も三日目には声を掛け合って班で協力して動く子どもたちの姿に成長を感じました。特に印象的だったのは、洋上フェスティバルです。今回の研修では、台風の影響で新島に着岸することができず、海水浴や露天風呂入浴などの活動が減ってしまいましたが、子どもたちはその分洋上フェスティバルに向けて真剣に取り組んでいました。事前研修ではあまり進まなかった話し合いも、二日目にはそれぞれが意見を伝え合うことができていました。子どもたちにとって、たくさんの学びとたくさんの思い出ができた実りある三日間になったと思います。

また、子どもたちだけでなく、私自身も成長することができた船上生活でした。普段はあまり関わることのない中学生と過ごせたこと、海洋に関する知識や船上の仕事を学ぶことができ、貴重な三日間でした。ありがとうございました。

◆5、6班 指導担当 篠原 潤平（秦野市立渋沢小学校教諭）



子どもたちの「いろいろな人と関わる力」に驚かされた3日間でした。出身、学年、性別に関わらず、班になったメンバーと良い関係を築き、目標に向かってみんなで進んでいこうとする姿はまさにインクルーシブであると感じました。年上にもしっかりと自分の考えを伝えようとする1年生や、それを受け入れたり、上手く輪に入れていない子にさりげなく声をかけたりする3年生の姿に感心しました。子どもたち一人ひとりがお互いを思いやる気持ちをもっていたからこそ、成功した洋上研修だと思います。

個人的には、もっと自分の担当以外の班と交流すればよかったと思っています。他の班がどのように進めているのか、どんな人間関係を築いているのかなどを見ることで、普段交流の少ない中学生とのかかわり方を学ぶことができると感じました。

お互いを思い合い、より良いものを作り出そうとする中学生の姿と、今担任している子供たちの将来が重なり、「こんな素敵な子たちに育つよう頑張ろう」と刺激を受けました。

◆7、8班 指導担当 小澤 瑞貴（秦野市立鶴巻中学校事務主事）



今回の洋上研修を通して、子どもたちと共に様々な経験をすることができました。残念ながら台風の影響で予定通りの研修は行えませんでした。限られた条件の中でとても良い研修が出来ました。私の担当したグループの生徒の中には、様々な悩みを抱えつつ、自分を変えようと今回の研修に参加した生徒も見られました。三日間の共同生活の中で、生徒たち一人一人が徐々に自分を出し、協力し合う姿を見て、とても感動しました。特に、悩んでしまっているときに、声をかける姿やその生徒の気持ちに寄り添おうとする姿は今でも忘れられません。さらに洋上フェスティバルのスタンプでは班員の生徒たち一人一人が考え、意見を出し合い素晴らしい企画を披露し、見事1位を取ることができました。その時の研修生達の表情は、とても明るく、達成感に満ちた表彰をしていました。今回の研修に参加して、改めて生徒たち一人一人の「力」を感じることができ、とても良い経験ができました。

◆9、10班 指導担当 指導担当 土屋 盾二（松田町教育課副主幹）



9・10班の担当をさせていただきました。どちらの班の子たちも、時間を意識して行動し、他者意識をもって行動できていたことにとても関心しました。特に洋上フェスティバルを成功させるために、「自分たちが納得できるスタンプにしよう」という目標を掲げ、計画的に進める姿はとても素晴らしかったです。

当日は、どちらの班も欠席者などの理由により、役割を急遽変更しなければいけないという、準備段階では予測することが難しい想定外のハードルに見舞われました。その問題にどのように向き合うのか見ていましたが、どちらの班の子たちも問題に対し、正面から向き合い、投げ出すことなく、みんなで話し合いを進めていました。その話し合いでは、少数の意見を簡単に切り捨てず、気持ちを汲み取りながら、折り合いをつけようとしていました。私達大人でも難しいことを、自然に行うことができる彼ら、彼女らの人間性は、素晴らしく、感銘を受けました。

私にとっても、優しい人間性にふれることができ、貴重な体験をすることができました。ありがとうございました

7 運営スタッフ



<運営管理者>
水島 一葉



<運営担当>
石原 豪



<運営担当>
林 修也



<運営担当>
柏木 翼



<運営担当>
柏木 美穂



<運営担当>
山崎 敦也



<運営担当>
草野 翔太



<運営担当>
二見 公仁男



<運営担当>
大矢 竜大



<看護担当>
池田 幸枝



<看護担当>
山田 紀子



東海大学 海洋調査研修船望星丸
上河内 信義 船長



東海大学 海洋調査研修船望星丸
住吉 雅貴 事務長



東海大学 海洋調査研修船望星丸
乗組員の皆さん



〈実行委員長兼統括責任者〉
逢坂 伸一

8 アンケート結果 ※複数回答も含まれています。意見等は一部抜粋です。

(1) 研修生へのアンケート（回答75人／75人）

Q1 この洋上体験研修を知ったきっかけは何ですか

1. チラシ 41人 (54.7%)	2. ホームページ 0人 (0.0%)	3. 公民館等のポスター 0人 (0.0%)
4. 市町村の広報誌 10人 (13.3%)	5. タウンニュース 2人 (2.7%)	6. 保護者から 9人 (12.0%)
7. 以前の参加者から 3人 (4.0%)	8. その他 10人 (13.3%)	

※「8. その他」の意見 ・いところに誘われた ・友達に誘われた ・学校からの手紙

Q2 研修に参加した理由は何ですか

1. 船に乗りたかった 9人 (12.0%)	2. 新島へ 行ってみたかった 15人 (20.0%)	3. 他校生との交流を したかった 17人 (22.6%)
4. 自分が成長できると 思ったから 5人 (6.7%)	5. 友達に参加するから 11人 (14.7%)	6. 親や先生から 勧められたから 12人 (16.0%)
7. その他 6人 (8.0%)		

※「5. その他」の意見 ・楽しそうだったから ・進学先が海洋系だから
・違う環境に飛び込んで、楽しんできたから
・いところに誘われたから ・楽しそうだったから
・こんな体験はなかなかできないと思ったから

Q3 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日 15人 (20.0%)	2. 土・日曜又は祝日 29人 (38.7%)	3. いつでも良い 31人 (41.3%)
----------------------	----------------------------	--------------------------

※「1. 平日」の意見 ・土日は部活の大会や習い事など予定がある
※「2. 土・日曜又は祝日」の意見 ・平日は学校があるから ・習い事がないから
※「3. いつでも良い」の意見 ・夏休みなのでいつでもよい
・1でも2でも部活があるから

Q4 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬 27人 (36.0%)	2. 8月上旬 43人 (57.3%)	3. 8月中旬 5人 (6.7%)
------------------------	------------------------	----------------------

※「1. 7月下旬」の意見 ・8月は暑いから ・8月より涼しいから
・8月は勉強、宿題をしたいから
※「2. 8月上旬」の意見 ・部活が少ない ・海水浴に一番いい気温だから
・一番時間があいているから ・お盆とかぶらないから
※「3. 8月中旬」の意見 ・忙しいから ・部活の練習や大会とかぶるから

Q5 本研修の2泊3日という期間はどうか

1. 長い	2. ちょうどよい	3. 短い
7人 (9.3%)	40人 (53.4%)	28人 (37.3%)

Q6 本研修で一番楽しかったことは何ですか

1. 船上生活	2. 他校生との交流	3. 星空観察
13人 (17.3%)	38人 (50.8%)	1人 (1.3%)
4. ウォークラリー	5. 海水浴	6. 洋上フェスティバル
0人 (0.0%)	1人 (1.3%)	17人 (22.7%)
7. 海洋観測	8. その他	
1人 (1.3%)	4人 (5.3%)	

※「8. その他」の意見 ・花火 ・船内見学 ・部屋

Q7 本研修期間中、つらかったことはありますか（プログラム内容、船酔いなど）

1. ない	2. ある
40人 (53.3%)	35人 (46.7%)

※「2. ある」の意見 ・船酔い ・新島に行けなかった ・海に入れなかった
・ホームシック ・朝が早い ・シャワー時間が短い

Q8 研修に参加して、自分自身が変わったと思いますか

1. 変わらない	2. 変わった
26人 (34.7%)	49人 (65.3%)

※「2. 変わった」の意見 ・海や船について色々調べた
・他校生と関わり、考え方が変わった
・積極的に人と関われるようになった
・チームワークの大切さ、集団行動の難しさを知った

Q9 他の学校や他の市町村の中学生との交流はどうでしたか

1. 良かった	2. 嫌だった	3. どちらでもない
69人 (92.0%)	6人 (8.0%)	0人 (0.0%)

Q10 チャンスがあれば、また洋上体験研修に参加したいですか

1. 参加したい	2. 参加したくない	3. わからない
55人 (73.4%)	1人 (1.3%)	19人 (25.3%)

Q11 今回のプログラム以外にやってみたいこと、知りたいことはありますか

※自由意見 ・釣り ・スポーツ ・BBQ ・科学の実験 ・手持ち花火
・他班との交流 ・海の生物について ・深海生物について

(2) 研修生の保護者へのアンケート（回答70人／75人）

Q1 この事業を知ったきっかけは何ですか

1. 子どもから	2. 友達の保護者から	3. 以前の参加者（の保護者）から
16人（22.9%）	4人（5.7%）	5人（7.1%）
4. 学校（先生）から	5. PTA 総会のチラシ	6. ホームページから
22人（31.4%）	7人（10.0%）	2人（2.9%）
7. 公民館等のポスター	8. 市町村の広報誌	9. タウンニュース等 タウン誌
0人（0.0%）	9人（12.9%）	3人（4.2%）
10. その他		
2人（2.9%）		

※「10. その他」の意見 ・兄弟が参加 ・学校のお知らせ

Q2 この研修に申し込んだ理由は何ですか

1. 参加者本人の希望	2. 保護者から勧めた	3. その他
38人（54.2%）	30人（42.9%）	2人（2.9%）

※「3. その他」の意見 ・本人の希望もあり、かつ親からも勧めた

Q3 参加者負担金（18,000円）はどうですか

1. 相応だと思う	2. 高い	3. 安い	4. 無回答
50人（71.3%）	2人（2.9%）	16人（22.9%）	2人（2.9%）

※「1. 相応だと思う」の意見 ・物価高を考慮すると相応
・経験する内容から考えると、満足
・これ以上の金額だと参加を考えてしまう

※「2. 高い」の意見 ・兄妹で参加するとなると、かなりの出費になる

※「3. 安い」の意見 ・普段体験できない研修内容のため、安い
・同じ研修内容で民間業者と比べると安い
・往復のバス、食事、研修費でこの金額は安いと思う

Q4 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日	2. 土・日曜又は祝日	3. いつでも良い
5人（7.1%）	41人（58.6%）	24人（34.3%）

※「1. 平日」の意見 ・土日は部活、習い事と重なるため
・総体の日程と重なり、欠場したため

※「2. 土・日曜又は祝日」の意見 ・部活や習い事がある平日よりも時間を確保しやすいため
・平日だと保護者が仕事で送迎できないため

※「3. いつでも良い」の意見 ・子どもは夏休みなので、都合がつけば参加できるから

Q5 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬	2. 8月上旬	3. 8月中旬
31人 (44.3%)	36人 (51.4%)	3人 (4.3%)

- ※「1. 7月下旬」の意見
- ・台風が少ない
 - ・気持ちの切り替えが出来る
- ※「2. 8月上旬」の意見
- ・お盆休み（帰省）や家族旅行と重ならないから
 - ・7月は学校や部活の予定と重なるから
 - ・8月中旬はお盆と重なるから
 - ・夏休みにも慣れてきた頃だから
 - ・台風の影響がない時期であるから
- ※「3. 8月中旬」の意見
- ・夏休み終盤の方が期待感や考える期間がとれるため
 - ・運動部に関しては、8月上旬はちょうど総体の時期と重なってしまうから

Q6 この研修は、台風などの天候によって目的地新島に渡航できない場合、今回のように代替スケジュールを実施しています。この対応について、どう考えますか。

1. 新島への渡航ができないのであれば、中止すべき	2. 今回のように代替スケジュールで実施すべき
5人 (7.1%)	53人 (75.7%)
3. どちらともいえない	4. その他
11人 (15.8%)	1人 (1.4%)

- ※「1. 新島への渡航ができないのであれば、中止すべき」の意見
- ・代替スケジュールでは本来体験したい事と異なり、意味がないと思う
 - ・本来のスケジュールとの差が大きいと子どもが言っていた
- ※「2. 代替スケジュールで実施すべき」の意見
- ・子どもが楽しみにしているため、代替でも研修を行ってほしい
 - ・新島への渡航が目的ではなく、研修を体験することが目的であるため
 - ・日程を確保しているため、集団行動の適応性と自主自律、主体性、創造性を育む研修目的を達成するためには、新島渡航にこだわらなくてもよいと考えるから
 - ・他の市町村の子や同じ学校の子以外の子と交流するという目的は果たせるので
- ※「3. どちらともいえない」の意見
- ・やはり、新島への渡航が1番よいので、代替スケジュールになってしまうのは残念だが、中止もかわいそうだと思うから
 - ・中止は嫌だけど、船上だけの研修は物足りないかと思う

Q7 他の市町村の中学生と交流したことについて

1. 良かった	2. 良くなかった	3. どちらでもない
67人 (95.7%)	0人 (0.0%)	3人 (4.3%)

※「1.良かった」の意見

- ・同年代の子と交流することで視野が広がるから
- ・普段接する事のない方たちと交流し、お互いの市町村の事を知ることができたから
- ・普段交流できない周辺市町村の中学生との交流は貴重な経験だから
- ・少人数の学校に通っているなので、良い経験ができたと思う

※「3.どちらでもない」の意見

- ・他の子の話がでてこないため

Q8 この研修に参加して、お子さんの態度や考え方が変わったと思いますか

1. 変わった	2. 変わらない	○無回答
30人 (42.9%)	39人 (55.7%)	1人 (1.4%)

※「1.変わった」の意見

- ・他校の子との関わりについて今まで以上に積極的になった
- ・社交的になり、色々なことに興味を持つようになった
- ・楽しむことへの姿勢が以前より見える時があるように感じる

※「2.変わらない」の意見

- ・帰ってきたときは満足そうだったが、すぐいつも通りに戻った
- ・今変化が見受けられないが、確実に良い思い出、経験になっていると思う

Q9 お子さんをこの研修に参加させて良かったと思いますか

1. 良かった	2. 良くなかった	3. どちらでもない
67人 (95.7%)	1人 (1.4%)	2人 (2.9%)

※「1.良かった」の意見

- ・船上で生活する機会はなかなかないと思うから
- ・本人がとても楽しんでいて、終わった後も友人との交流を大切にしていたことに成長を感じたため
- ・帰宅後に研修の思い出を熱心に話す姿を見て良かったと感じたから
- ・事前研修までは嫌そうだったが、本研修参加後に「楽しかった！」と言って帰ってきたため

- ・本人が「来年も参加したい！」といており、来年度も参加させたいから

※「2.良くなかった」の意見

- ・帰ってきてからがっかりしていたから

※「3.どちらでもない」の意見

- ・今回はスケジュールが変更して体験させたかったことができなかったため

Q10 自由意見

※本事業の継続を望むご意見や、スタッフへの心温まるお言葉を多数いただきましたが、一部割愛させていただきました。ありがとうございました。

- ◆ うち、同世代の兄弟がいないので、同世代の子達と同じ屋根の下で寝食をともにする機会自体が貴重な体験でした。また、船の上という滅多にない経験もでき、少しは男の子らしくたくましくなってくれた様に思い、来年も機会がありましたら、是非参加させて頂きたいと思います。本人も絶対行きたいと言っております。このような貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。
- ◆ 新島へ渡航できないなら中止すべきだと思います。1日目はシャワーを浴びる事もなく、船の中にだけいて、何も体験せず、本当に退屈でみんなつまらない、ただいるだけと言っていたそうです。来年は同じようならもう行きたくない…と言っていました。
- ◆ 今回、台風の影響で天候や海洋状況を考慮され、代替スケジュールを組んで安全に実施できた事に、関係者の皆様のご苦勞様と大変さを感じます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。来年も参加したいそうです。よろしくをお願いします。
- ◆ 人見知り傾向の娘は様々な人に出会い、コミュニケーションを取る機会を得られたことは大変有意義な時間を過ごせたと思っています。また、日常では経験できないような船上での体験、深海への発砲スチロールの実験等の家族旅行では味わえない経験をしてきたと思っています。今後、高校生になっても参加できるような企画や地域活性化になるような企画、またこの洋上体験研修で参加したメンバーから後輩や地域の人々への伝達会・発表会などがあると研修の効果も高くなると思っています。娘の一度しかない中3の夏、良い経験ができ、関係していただいた様々な方に感謝です。
- ◆ 船での宿泊、実験、観光、遊び。同年代の子どもが集まり、体験できるのは、とても貴重で、素晴らしい企画だと思います。是非長く続いてほしいです。一つだけ、炎天下の出発式はかわいそうだなと思いました。
- ◆ 企画運営の皆様に深くお礼申し上げます。「井の中の蛙、大海を知らず」にならないよう、子どもを参加させました。日常の生活と異なる場所、他地域の中学生と交流することで、他者の考えに共感し、一つのことを成し遂げる難しさと達成感を味わったと思います。また、多くの中学生と触れ合うことで、自分がまだ足りないところ、良いところを発見でき、刺激になったのではないかと思います。今後社会人となって「やり抜く力」を身に付けられるよう洋上体験研修を継続してほしいと思います。
- ◆ 帰ってきた息子が、みんなが同じ方向を向いて、様々な事に一緒に取り組めて楽しかったと話してくれました。人と関わるのが好きな息子ですので、広域の同年代のお友達と過ごせた3日間はとても学ぶものが多かったと思います。学校へは皆で同じ方向を向くことの難しさを感じていたようなので、この機会で、この研修ができ、考え方も広がったのでは？と思います。新島に行けなかったことはとても残念ですが、子どもにとって貴重な経験となりました。ありがとうございました。
- ◆ 副班長を担当したとのことで責任をもって仕事が出来て良かったと思います。
- ◆ 自己中心的になりがちな息子に考え方の多様性を学んでほしくて参加させました。今のところ効果ははっきりしませんが、楽しく参加でき、新たな友達が出来たことは単純に喜ばしいことだと思います。中学生の間、毎回参加する可能性を考えると、3年サイクルで

プログラムを変えても良いのではないかと思います。

- ◆ 大変素晴らしい事業だと思うので、ずっと継続してほしいと思います。
- ◆ アンケートのとおり、交流は勉強になったそうです。しかし、渡航できなかった事は残念でしかなかった…と。
- ◆ 本研修では大変お世話になり、ありがとうございました。親は、秦野市にこのような研修があることをうれしく思い、中学生になったら是非参加させたいと思っていただけ、勧めてみましたが、娘は親の想像以上に参加に意欲的でした。以前から、初めて会う人や集団に対してあまり緊張せずになれる子だ感じていましたが、今回の研修で、そういった自分の「よさ」を実感できたのではないかと思います。今年度は代替スケジュールだったということで来年度、また是非参加したいと言っています。職員の皆様、準備や引率等、多岐にわたるサポートをありがとうございました。
- ◆ 天候が悪く、予定どおりのスケジュールで行けない事を知り、がっかりすると思っていましたが、とても良い顔で帰宅し、「楽しかった」「ごはんが美味しかった」「船の中を見た」などいきいきと話してくれました。親が思う以上に子どもは多くの発見や学びをしていると思います。すぐに感じられる変化はなくとも、今日の生活や学習に生かされてくると思っています。実際天候が悪い事で、なぜ行けなかったのかという事も大きな学習だと思っています。このような事業は是非つづけていただきたいです。色々とお世話になり、ありがとうございました。
- ◆ 新しい出会いと新しい交流の場に期待して参加させていただきました。また、日常では味わう事のできない時間を過ごすことができる船上生活では、子どもにとって良い経験になるのではないかと思います。参加しました。新しい友達とのやり取りなど楽しんでいる様子が見受けられたので、参加させてよかったと思います。
- ◆ 中学生の時にしか体験ができない内容だと思ったため、親としても参加して欲しいと思って参加させていただきました。運営の方に任せっきりですのでこちらから内容についての要望は特にありません。また来年も参加したいと本人がいていることから、素晴らしい企画なのではと思います。新島に行けなかったことは残念でしたが、集団生活を経験できて良かったと思います。ありがとうございました。
- ◆ 一人っ子で親に甘えることが多く、一人で何かをすることに不安を抱えるタイプなので、知らない友達の中で、人間関係を学んでほしいと思って参加させました。思った以上に溶け込んでいたようで、親しくない友達から少し気を許せる友達となった子やその場だけの友達で終わった子など自分の中で判断して行動できたようでした。本人的には、天候に恵まれなかったため、ウォークラリーや海水浴ができなかったのが残念だったと思いますが、代わりに花火が見れたのが良かったと話していました。スケジュールの調整や悪天候時の対応など、運営側は大変だと思うが、中学生のうちにこのような交流ができるのは、貴重なので、是非今後も継続してほしいと思います。
- ◆ 今回は新島へ行けなかったのですが、来年は晴れるといいなと思います。
- ◆ いつも顔見知りの中で守られて暮らしているため、知らない人の中で共同生活をする体験は今後の対人関係を築くうえでの勉強になったと思います。自分を含め、完璧な人はおらず、協力する事の大切さを知ったと思います。
- ◆ できれば研修中の様子を確認できるとより安心感があり、親としては参加させやすくな

と思います。できれば動画や写真などをその都度発信してもらえると良いですが、できなければ文章でもいいので、細かくお知らせする仕組みがほしかったです。

- ◆ 兄も参加させて頂き、とても良い経験をしたので、今回は弟も参加させて頂きました。今回は、スケジュール変更を当日の集合場所で知らされたので、新島に上陸できず、かなり残念だったようです。決まった時点でお知らせ頂けていたら、水着等の荷物も少し減らせたかなとも思います。船内活動だけになってしまいましたが、なかなか体験できない事もさせて頂けたと思います。ありがとうございました。
- ◆ 天候が悪く、新島へは行けませんでした。楽しみにしていた研修に行けて楽しかった様です。来年も参加したいと言っているくらいです。是非続けてほしいと思います。
- ◆ 子どもが思春期であまりしゃべらないので、どんな様子だったかよくわからなかったです。写真屋さんも同行して写真の販売などしていただけたら親もどんな様子だったかわかるのでうれしいです。親用のしおりはとてもありがたかったです。安全に2泊3日過ごすことができ、感謝です。
- ◆ 学校外場で、このような宿泊研修を行っていただき、ありがとうございます。教育活動ですぐに結果が出たり、変化が見られたりという事は、中々ないかと思いますが、子どもの中には、何かしらのプラスの種がまかれたのではないかと思います。是非次年度以降も開催していただきたいと思います。ありがとうございました。
- ◆ 私自身が海が苦手、今回友人に勧められなければ参加することを全く考えていませんでした。帰宅した息子達を見て話を聞くと、本当に参加して良かったと思います。なかなか個人ではこのような体験はできず、他校の中学生と交流、協力して行動することで色々学べ、成長ができたようです。新島へは行けませんでした。安全を第一に考えていただき、安心して子ども達を送り出す事ができ、皆様に感謝しています。ありがとうございました！
- ◆ まず、参加させて頂き、ありがとうございました。娘には、家族・知り合い・学校・学校の先生とは違う人、非日常生活が出来る、ある！！って事を知ってもらいたかったので、参加させました。
彼女にとっては、すごいステップアップ出来た体験になったと思います。また、一人でも生きていくうえで大切なコミュニケーションも沢山学べたかなと思います。娘に関わってくださった皆様本当にありがとうございました。
- ◆ 船上生活や集団行動を体験できる貴重な研修だと感じています。船酔いや新島に渡航できなかった事などの一見ネガティブに思える体験も、今後の人生の糧になると思います。是非、今後も事業を継続していただきたいと思います。
- ◆ 新島へ渡航できなかったのは残念ですが、近場で花火が見れたり、貴重な経験ができました。現在小学校2年生の下の子も是非参加させたいと考えております。
- ◆ 海洋調査船に乗り、活動をするという普段なら体験できない研修内容にとっても魅力を感じました。きっかけは仲のいい友人が行くからという理由でしたが、事前研修で既に他市町村の中学生と交流できたことを楽しそうに話してくれ、研修の間も同じ班のメンバーと仲良くなったと話してくれました。
このようなつながりが出来たので、今後は研修後、報告のような形でまたメンバーで集まれるような機会があるといいなと思いました。
台風の影響がどこまであるか不安な中、研修へと送り出したが予め代替スケジュールを

HP上に示してくれていたのでも安心して送り出すことができました。また、研修の間も定期的に情報がアップされていたのもありがたかったです。今回の研修に参加することで、親にたよりがちな子どもが自分の力で少しでも何かを為して学びを得てくれたらいいなと考えていました。三日間という短い間ではありましたが、帰ってきた子どもは少したのもしくなったように思います。今後の学校生活・社会生活の中で今回の経験が活かされることを期待しています。夏休みの中頃に実施してくれたこともあって、「研修までに宿題をここまで終わらせる」などの計画を立てやすく、実際ほとんどの宿題を終わらせて参加できたのは良かったと思います。コロナの影響もあり、実施できない年もあったそうですが、是非今後も続けてもらいたい企画であり、二つ下の弟にも参加してもらいたいと考えています。今回は貴重な経験をありがとうございました。

- ◆ 乗船後、体調を崩したようですが、手厚いフォローをしていただき、ありがとうございました。次の機会には、また違った経験ができると思いますし、何かを発見する機会につながると思います。次回の企画期待しています。
- ◆ 船という不便な状況で、知り合いもいない中で自身の成長につながると思い、参加させました。普段体験できないようなことをさせていただいて、本当に感謝しています。今回は久しぶりの開催（コロナのため）と聞いていますが、今後も是非継続されることを望みます。中学最後で参加することができてよかったです。秦野カルチャーパークで、生徒代表の挨拶ができたことも本人にとって素晴らしい経験になりました。
- ◆ 大変、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
通常とは違う環境で新しい友達と協力し、行動する力をつけてもらいたいと思い参加を承諾しました。本人も想像以上に楽しく過ごせた様で満足しております。新しい友達もでき、一緒に出掛ける予定もあり、今後とも仲良くできればと思っています。
引率して頂いた方々も仲良く接して頂き、大変お世話になりました。
今後の事業継続に関しては、大勢の子どもたちに参加して頂きたいので継続して頂きたいと思います。
- ◆ 今回初めて参加させていただき、行く前の準備から楽しみ半分、不安半分の様子でした。事前研修から仲良くなった子とどんな旅をするのか楽しみにしていました。前日より台風が接近しているとの情報で中止になってしまうのではないかと親子で不安な気持ちで朝を迎えました。先生方が考えて代替えプランを用意してくださり、特別サプライズである大きな花火のご褒美をいただきました。子どもたちのために、できないとなった際、代替えを用意して切り替えるという事を学びました。うちの子はAと決めたらAの道しか選べなかったのですが、洋上体験参加後から、この道がだめならこの道でと回避できるようになりました。また、お友達づくりもうまくなりました。洋上体験では、清川村のお姉さんたちが「とてもかわいくて楽しかった。また会いたい」と話していました。次いつ会えるのか分からない夏のお友達との交流もまた彼女の成長につながりました。今年是一年生ですが、今後継続して2年・3年と成長していくに当たってどのようにリーダー性をつけていくのか見たいと思っています。洋上体験はこういう異年齢や異なる地域で育つ子ども達との交流を民間ではできない行政で行ってほしいなと強く思います。この経験を活かしてまちづくりを担う子どもたちにシェアしていきたいと思っています。
- ◆ 本人には、学校だけでなく、また、家族と一緒に体験できないことに参加させたいという気持ちがありました。普段の仲間や家族に言わなくても伝わることや、わかってもらえるという甘えもあると思いますが、初めて会う方にはがんばって伝えようと意識しないと伝わらないということも学んでもらいたいからです。他にも、大きな海の上という環境で船の上の仲間を大切に、長い時間をともに過ごす中で、どんな心の変化があったのか。言葉は少ないですが、本の中の知識ではなく、自分の五感を使った感じ方が残ったと思い

ます。「楽しかった、また行きたい。」という思いを残していただいて本当にありがとうございました。

- ◆ 2泊3日で船上で過ごす体験なんてなかなかさせてあげられないので、是非継続してほしいです。他の市町村の子と友達になれて、たくさん思い出ができ、いい刺激をもらえたと思います。LINEですぐにつながる事ができる時代なので、お友達になった子とたまにやりとりをしているみたいで楽しそうにしています。とても成長できた3日間でした。本人は特にぶためんが縮んだ実験が楽しかったと言っていました。お世話になりました。ありがとうございました。
- ◆ 事前研修から本研修と大変お世話になりました。船上という事で酔ってしまったり、他の中学の子、泳ぎが苦手だったりと不安なことがたくさんあったのですが、楽しいこともあり無事に笑顔で帰ってきたので参加出来て良かったです。
新島の様子をHPで見ていたので、島に行けなかった事はとても残念でした。グループでのイベントも楽しかった様です。楽しそうに話してくれました。1泊2日ではなく、2泊というのが良かったです。ありがとうございました！
- ◆ 初対面の人とすぐ仲良くなるのが得意ではない子どもなので、心配はありましたが、今回の研修から帰ってきたときの明るい充実した表情が印象的でした。疲れたし、船酔いもあったと言っていました。参加してよかったです。「楽しかった。仲良くなった人もできた。海洋観測もできた。」と目をキラキラさせてたくさん話してくれました。各市町村の方々、この事業に関わっている皆様、ありがとうございました。今後ともこの事業が続いていくことを願っています。
- ◆ 全く知らない仲間とのつきあい方や苦手な事へのチャレンジ、人見知りを克服させたいという思いがあり、行かせました。
あと船の旅はなかなか連れて行ってあげられないので行かせました。洋上体験はよく台風で中止になるので早めに行った方がよいと思います。(7月中とか…)
- ◆ 家庭では船に乗ってカップめんの容器を深海に沈めることなどできないので良い経験ができたと思います。新島にも連れて行くこともなかったので本当なら上陸させてあげたかったです。コロナで遠足などなかったので、ウォークラリーなど仲間と協力することもさせてあげたかったです。また、本人から行きたいと言ってきたので、チャンスがありましたら参加させてあげたいです。皆様、ありがとうございました。
- ◆ 子どもが自ら参加したいと希望してきたので今回参加させました。他の学校の子たちとの交流や研修での学びがたくさんできたと思います。また、洋上体験はなかなか参加することができないと思うので参加できて良かったです。ただ、台風の影響で本来予定していた新島での体験ができなかったことが残念でした。他の地域の中学生との交流会は今後とも継続していただけたらと思います。ありがとうございました。
- ◆ とても貴重な体験ができるチャンスなのでより広くこのプログラムのことを周知させていただきたいです。学校で先生方から紹介するなどしていただけると子どもたちも興味を持つかもしれません。
- ◆ 今回私(保護者)から参加をすすめたのですが、最初は参加しないと言っていたけれどHPなどからどのようなことをやっているのか、また、新島を見せることでだんだんと行きたいという気になり、友人を誘っての参加に至りました。親としては初めて会う人たちの中でも自分から交流を持てるようになってほしいと思い、参加をすすめましたが、体験後の現在でも連絡を取り合っている様なのでとてもよかったですと思います。来年度も参加し

たいと言っており、とてもいい経験になったと思います。開催していただきありがとうございました。

- ◆ 娘が小学生の時から中1になったらこの洋上体験に参加させたいと思っていましたがコロナで実施されず残念に思っていました。今年の中3の受験生なのでとても迷いましたが、今しかできない体験をさせたく思い切って参加させて本当に良かったと思っています。知らない人と班を組み、協力し合うことで仲間になっていく経験は今後の娘の人生の何かになったと思います。二泊三日間の間、大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ◆ 普段経験できないことを経験してほしくて参加しました。初めての場所、人の中でたくさんのお話を学べたと思います。いろいろなイベントが縮小、廃止されてしまっていますが、子どもたちの成長のため今後も事業を継続してください。
- ◆ 「友達を作る、積極的になれる、集団行動がちゃんとできるか」など中学生と小学生だと過ごし方も変わってくるので、大変貴重な体験となりました。
今回の体験も大変素晴らしい内容ですが、キャンプなどがあり、4泊くらいできるプランだと尚良いと思います。船で体験させることは、親からは提供できない経験なので、来年も是非やってほしいと思います。
- ◆ 船上で生活すること、初対面の中学生と交流ができること、島できれいな海を体験できること、集団生活のルールの中で生活できることなど、こういった機会はほとんどないと思うので、絶好の機会だと思い、応募しました。知らない人ばかりのところに行くのは不安があったようですが、帰ってきたときには、とても楽しかったという話を聞いて、非常によい企画だと思いました。チャンスがあれば新島での生活を体験させてあげたいと思いますので、引き続き事業を継続して行ってほしいと思います。
- ◆ 事前研修では、まわりの方にご迷惑をおかけし、配慮もしていただきました。本人の「大丈夫」という言葉を信じて参加させていただきましたが、親の私も緊張の3日間でした。私の思いとは別にとっても楽しい3日間で、とてもいい顔をして帰宅しました。たくさんの方にご迷惑をおかけしましたが、自分自身で感じる事が大切なのだと思います。他のお友達の住む市町村も気になり、世界はとても広いということも感じたようです。この度はこのような機会をありがとうございました。2歳下の妹も今から参加を楽しみにしています。
- ◆ 事前研修の時から、こんな子がいる、あんな子がいる、と楽しそうに話していました。本研修から帰ってきて、やはりお友達のことを饒舌に話していました。新島には上陸できなかったものの、仲間とともに楽しい時間を過ごせたようです。船酔いで自由時間はほとんど横になっていたそうですが、それを補ってあまりあるのは、小さくなったブタメンの容器、調査船内の見学、陸上と海上から見た花火などの貴重な経験です。願わくは、新島に上陸すべく、来年再チャレンジしてほしいです。夏休みの冒険をありがとうございました。関係者の皆様に感謝します。
- ◆ 学校からのプリントで、今回のことを知りました。締め切り数日前に見たので、ギリギリだけれどおもしろそうでは？と本人に声かけをしました。新島へは行けず残念でしたが、多くの仲間と交流し、仲良くでき、帰って来てからも交流がありましたので、たくさんのお話を得たよい機会となりました。来年も是非参加できればよいなと思います。3日間ありがとうございました。
- ◆ 事前研修の段階からお世話になり、大変ありがとうございました。

海の近くに住んでいながら、海にふれる機会もありませんでしたので貴重な体験だったと思います。知らない人同士でも何か目的があれば協働できるという体験も学校以外で得ることは大切だと思っています。

- ◆ 清川村は、幼稚園の頃から同じメンバーで、中学校まで1クラスなので、12年間とても狭い世界で過ごしています。

なので、今回の様な交流が出来る事はとても貴重な体験です。他校の中学生だけでなく、関わってくださったスタッフの方達、色々な人達と接する事が出来て、とても楽しかったと話しています。

今後もこの研修を続けてもらえたら嬉しいです。

- ◆ 何人か水着を買ったりして用意をしましたが、着なかった事が残念でした。子ども同士も話していた様子でした。キャリーバッグが不可だったことに不便さも感じました。

交流に関して他校の子達と友達になったり、体験できた事は良かったと思いました。帰宅して楽しかったと話を聞き、参加させて良かったと思いました。

- ◆ コロナ前に姉が洋上体験に参加していました。その時の楽しかったことを聞いていたので、本人も楽しみに参加していました。予定変更などがありましたが、沢山のひとと交流し、楽しかったことや困ったことを色々話してくれて、とても充実していたそうです。海や花火の美しさに感動したり、波が高く、驚いたことなど、自然の美しさや怖さも感じられたそうです。コロナが落ち着き、やっと日常生活に戻りだした中で、とても貴重な体験ができました。ありがとうございました。

- ◆ 清川村は子どもの人数が少ないため、色々な人との交流をする経験がほとんどないので、洋上体験を通して沢山の友達・仲間を作ってほしいと願い参加させて頂きました。

娘は船酔いが少し辛かった様ですが、晴れやかな笑顔で「新しいお友達が出来た！花火もキレイですごく楽しかった！良い体験、思い出が出来て参加して本当によかった！」と嬉しそうに帰宅してきました。妹も話を聞き、私も参加したいとワクワクしていたので、今後は是非継続して頂けたら幸いです。

- ◆ 学校生活だけでは得られない体験や刺激があると期待して参加させました。中学校では少人数で、先輩・後輩とも仲良くできていて、それは貴重な体験ですが、どうしても見知った人だけに囲まれて、自分の立ち位置が変わることなく過ごしてしまうので、たくさんの同年代の人との出会いで、多様な価値観がある事、自分と他人との関わり方など、感じたり、考えたりする機会を得ることができ、とても良い事だと思っています。3日間の体験なので、すぐ目に見える効果ではないですが、子どもの将来の判断に役立つ時があるかも…と期待しています。

- ◆ 今後も継続してほしいです。コミュニケーション能力をつけてほしいと思って参加させました。

- ◆ 沢山の仲間と数日間を共に過ごす貴重な体験をさせてもらい、安全面での配慮もしていただけたら、保護者として本当に感謝しています。家庭間では学べないことを学んで、大きく成長したのかなと感じました。

この事業に携わった子どもたちの様々な活動を支えてくれた方々に心から感謝しております。3日間ありがとうございました。

9 資料

◆東海大学 海洋調査研修船「望星丸」概要

1 資格

遠洋、国際航海、旅客船(第一種船)、
(海洋調査練習船)

2 船級

NK:NS*MNS* Ice Class ID
Passenger/Training Ship

3 主な内容

ア 全長	87.98m
イ 垂線間長	75.00m
ウ 幅(型)	12.80m
エ 深さ(上甲板、型)	8.10m
オ 満載喫水	4.80m
カ 国際総トン数	2174 t
キ 登録総トン数	1777 t
ク 燃料油タンク	401m ³
ケ 清水タンク	185m ³
コ バラストタンク	345m ³
サ 試運転最高速度	19.10ノット
シ 航海速度	17.00ノット



海洋調査船「望星丸」は、海洋調査・研究のための機能及び教育・研究、そして国際レベルの知的交流にふさわしい設備を完備したインテリジェント・シップです。

東海大学海洋学部の海洋実習及び海洋調査・研究を行うほか、外部機関との海洋調査・研究・洋上体験航海などを行い、洋上の研究施設として威力を発揮しています。

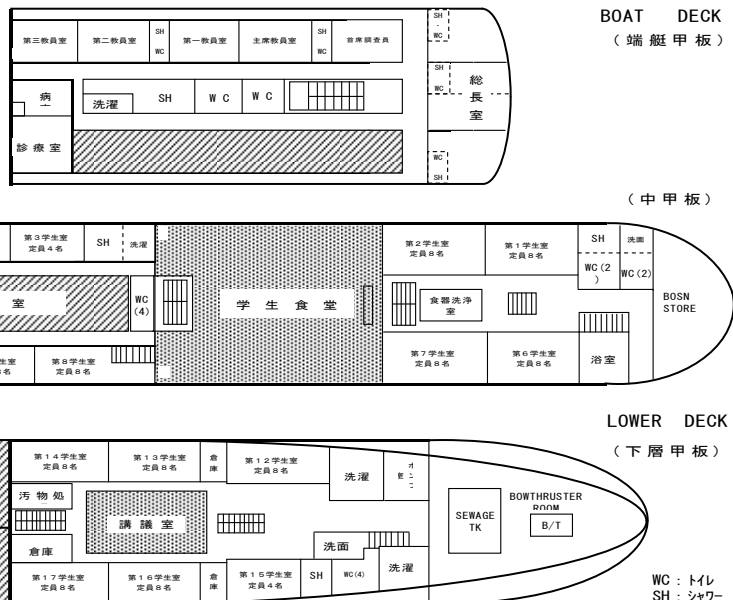
4 乗船定員

ア 乗組員	33名
イ 教員・調査員	17名
ウ 実習研修学生	120名
エ 練習学生	20名
計	190名(含乗組員)

5 安全設備

ア 救命艇	部分閉囲形89名定員	信貴造船	2艇
イ 救命艇	複合型6名定員	東洋ゴム	2艇
ウ 救命筏	膨張式25名定員	三菱電機	4組
エ CO2固定消火装置(機関室用)		川重防災	1式
オ スプリンクラー装置		能美防災	1式
カ 火災探知警報装置		能美防災	1式

望星丸の概要
(居室配置図)



令和5年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項

1 趣旨

この事業の趣旨は次のとおりとする。

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村（以下「1市4町1村」という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

2 主催等

主催 秦野市・秦野市教育委員会

共催 中井町・中井町教育委員会、大井町・大井町教育委員会、
松田町・松田町教育委員会、二宮町・二宮町教育委員会、
清川村・清川村教育委員会

3 事業の概要

(1) 事前研修

本事業に参加する中学生（以下「研修生」という。）に対して、本事業の趣旨、内容等についての理解を深め、本研修に必要な準備をさせるとともに、研修生相互の交流を図る。

また、団体行動の規律を徹底させ、本研修における各自の役割を分担させる。

・期日 令和5年7月15日（土） 午前9時30分～正午

・場所 はだのこども館 多目的ホール

(2) 本研修

・期日 令和5年8月5日（土）から8月7日（月）まで2泊3日

・行程 秦野市役所→清水港→新島→清水港→秦野市カルチャーパーク
（秦野市役所～清水港は大型バスを利用）

・使用船舶 学校法人東海大学海洋調査研修船「望星丸」1, 777t

・内容 船上…海洋観測、星空観察、グループワーク、

洋上フェスティバルなど

陸上…海水浴、ウォークラリー、露天風呂など

4 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者の構成

(1) 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者は総勢118名とし、構成は次のとおりとする。

1	統括責任者	1名
2	運営管理者	1名
3	指導主任	1名
4	指導担当	5名
5	看護担当	2名
6	運営担当	8名
7	研修生	100名

(2) その他、当事業の実施に当たり実行委員長が必要と認めた者については、定員の範囲内において参加を認める。

5 構成員の任務等

(1) 任務

ア 統括責任者は、参加者を代表するとともに、全体を統括する。

イ 運営管理者は、統括責任者を補佐するとともに看護担当、運営担当を指導し、東海大学など外部との調整を行い、参加者全体を統括する。

ウ 指導主任は、統括責任者と連絡を密にするとともに、指導担当を統括し助言を与える。

エ 指導担当は、指導主任と連絡を密にするとともに、研修プログラムの企画運営及び研修生の指導的役割を担当する。

オ 看護担当は、参加者の保健、衛生について担当する。

カ 運営担当は、運営管理者及び指導主任と連絡を密にするとともに、庶務を担当する。また、指導担当を補助し、研修生の活動を支援する。

キ 研修生は、団体行動のもとに研修に参加し、役割を分担する。

(2) 選任等

ア 統括責任者については、実行委員会が指名するものとする。

イ 研修生の決定は、応募者の中から応募資格の規定に基づき、予め実行委員長が行い、実行委員会の承認を得るものとする。

ウ 研修生として不相当と認められる者については、研修前後を問わず研修生の資格を取り消すものとする。

エ 事業の円滑な実施を図るため、広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会を設け、その組織・運営については、実行委員会で決定する。

6 研修生応募資格及び募集方法

(1) 応募資格

- ア 1市4町1村に居住している中学生。
- イ 事前研修を含め、全日程に参加できる人。
- ウ 本研修後、研修レポートを提出できる人。
- エ 主催者の指示、注意を守り、規律ある集団生活ができる人。
- オ 健康状態が良好である人。

(2) 募集方法

公募とし、所定の参加申込書に必要事項を記入し、1市4町1村の広域連携中学生交流洋上体験研修事業の担当課に提出する。

(3) 募集期間

令和5年5月15日（月）から5月31日（水）まで

7 研修生の参加負担金

参加する研修生の負担金は、18,000円とする。

8 その他

この要項に定めるものの他、本事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、令和5年4月21日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

令和5年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会と称する。

(目的)

第2条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項の趣旨に従い、洋上体験研修事業について協議する目的で設置する。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を推進する。

- (1) 事業の企画立案、実施及び評価・反省に関すること。
- (2) 運営委員会の組織・運営等に関すること。
- (3) 目的を達成するための調査・研究に関すること。
- (4) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 本会は、秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村(以下「1市4町1村」という。)の教育関係者、行政関係職員及び学識経験者9名で構成する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 実行委員長 1名
 - (2) 副実行委員長 2名
 - (3) 監査 1名
- 2 役員は、委員の互選とする。
- 3 実行委員長は、本会を代表し、事業の総体的事項を統括する。
- 4 副実行委員長は、実行委員長を補佐し、実行委員長に支障があるときは、その職務を代行する。
- 5 監査は、会計の監査にあたる。

(顧問)

第6条 事業の総合的な企画・運営に関する相談役として顧問を置く。

- 2 顧問は、1市4町1村の教育長とする。

(会議)

第7条 本会は、実行委員長が招集する。

- 2 会議の議長は、実行委員長がこれにあたる。

(事務局)

第8条 本会の事務局は、1市4町1村の生涯学習主管課とする。なお、事務所は秦野市文化スポーツ部生涯学習課内に置く。

- 2 事務局は、実行委員会との連絡調整及び事業推進にあたる。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は実行委員会の中で協議して定める。

附 則

この規約は、令和5年4月21日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

令和5年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員名簿

	団体名	氏名	所属
1	学識経験者	逢坂伸一	東海大学名誉教授 秦野市社会教育委員会議長
2	P T A 関係者	牧嶋信茂	秦野市P T A連絡協議会会計
3	秦野市教育関係者	古木学	秦野市立南中学校長
4	中井町教育関係者	岩淵和信	中井町立中井中学校長
5	大井町教育関係者	佐藤裕	大井町立湘光中学校長
6	松田町教育関係者	岩井隆豪	松田町立松田中学校長
7	二宮町教育関係者	藤田和人	二宮町立二宮西中学校長
8	清川村教育関係者	松田拓也	清川村立緑中学校長
9	行政関係職員	宇佐美高明	秦野市文化スポーツ部長

実行委員会顧問

1	秦野市教育委員会教育長	佐藤直樹
2	中井町教育委員会教育長	岩本明人
3	大井町教育委員会教育長	夏苺一壽
4	松田町教育委員会教育長	浄泉和幸
5	二宮町教育委員会教育長	森英夫
6	清川村教育委員会教育長	山田一夫

事務局

1	秦野市文化スポーツ部生涯学習課	課長 水島一葉、課長代理 石原豪 主事補 柏木翼
2	中井町教育委員会生涯学習課	主事補 柏木美穂
3	大井町教育委員会生涯学習課	主事 山崎敦也
4	松田町教育委員会教育課	主事 草野翔太
5	二宮町教育委員会生涯学習課	主任主事 二見公仁男
6	清川村教育委員会事務局生涯学習課	主事 大矢竜大

令和5年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会規約

1 構成及び選任について

広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項（以下「要項」という。）に基づき、原則として18名で構成する。

また、選任については、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会が決定する。

2 任務について

運営委員会は、要項に基づき広域連携中学生交流洋上体験研修事業（以下「研修事業」という。）の研修プログラムの運営及び研修生の指導的役割を担う。

3 運営委員会の役割分担について

研修事業を円滑に運営するため、役職を次のとおり定める。

また、指揮系統を明確にするための組織図は別紙のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名

4 運営委員会議の開催について

運営委員会議は、秦野市文化スポーツ部生涯学習課（以下、「生涯学習課」という。）と調整しながら随時開催するものとする。

5 その他

この規約に定めるほか、本事業に関して必要な事項は運営委員会と生涯学習課で協議する。

附則

この規約は、令和5年4月21日から施行する。

＜ 運営スタッフ名簿 ＞

[本部スタッフ]

No.	役割	氏名	性別	所属	職名
1	統括責任者	おうさか しんいち 逢坂 伸一	男	東海大学	名誉教授
2	運営管理者	みずしま かずは 水島 一葉	女	秦野市生涯学習課	課長
3	運営担当	いしはら つよし 石原 豪	男	秦野市生涯学習課	課長代理
4	運営担当	はやし しゅうや 林 修也	男	秦野市生涯学習課	課長代理
5	運営担当	かしわぎ つばさ 柏木 翼	男	秦野市生涯学習課	主事補
6	運営担当	かしわぎ みほ 柏木 美穂	女	中井町生涯学習課	主事補
7	運営担当	やまざき あつや 山崎 敦也	男	大井町生涯学習課	主事
8	運営担当	くさの しょうた 草野 翔太	男	松田町教育課	主事
9	運営担当	ふたみ くにお 二見 公仁男	男	二宮町生涯学習課	主任主事
10	運営担当	おおや たつひろ 大矢 竜大	男	清川村教育委員会事務局	主事
11	看護担当	やまだ のりこ 山田 紀子	女	清川村保健福祉課	保健師
12	看護担当	いけだ ゆきえ 池田 幸枝	女	秦野市こども家庭支援課	保健師

[指導スタッフ]

No.	役割	氏名	性別	所属	職名
13	指導主任	いけした ひかる 池下 輝	男	秦野市教育指導課	指導主事
14	指導担当	たかはし かなこ 高橋 佳菜子	女	秦野市立渋沢小学校	教諭
15	指導担当	すずき あんな 鈴木 杏奈	女	秦野市立渋沢小学校	教諭
16	指導担当	しのはら じゅんぺい 篠原 潤平	男	秦野市立渋沢小学校	教諭
17	指導担当	おざわ みずき 小澤 瑞貴	男	秦野市立鶴巻中学校	事務主事
18	指導担当	つちや じゅんじ 玉屋 盾二	男	松田町教育課	副主幹

令和5年度運営委員会組織図

統括責任者
逢坂 伸一

運営管理者
秦野市
生涯学習課長
水島 一葉

指導スタッフ

指導主任
秦野市教育委員会
教育指導課
池下 輝

指導担当
秦野市立渋沢小学校
高橋 佳菜子
指導補助①

指導担当
秦野市立渋沢小学校
鈴木 杏奈
指導補助②

指導担当
秦野市立渋沢小学校
篠原 潤平
指導補助③

指導担当
秦野市立鶴巻中学校
小澤 瑞貴
指導補助④

指導担当
松田町教育課
土屋 盾二
指導補助⑤

1 班
10 人
2 班
9 人

3 班
10 人
4 班
9 人

5 班
9 人
6 班
9 人

7 班
9 人
8 班
9 人

9 班
9 人
10 班
9 人

本部スタッフ

運営担当

二見（二宮町）	設営物資・指導補助①
山崎（大井町）	設営物資・指導補助②
草野（松田町）	食事指導・指導補助③
大矢（清川村）	食事指導・指導補助④
柏木（中井町）	食事指導・指導補助⑤
石原（秦野市生涯学習課）	渉外
林（秦野市生涯学習課）	渉外・記録
柏木（秦野市生涯学習課）	渉外

看護担当

池田（秦野市）	保健師
山田（清川村）	保健師



研修運営：広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会

秦野市・秦野市教育委員会、中井町・中井町教育委員会
大井町・大井町教育委員会、松田町・松田町教育委員会
二宮町・二宮町教育委員会、清川村・清川村教育委員会